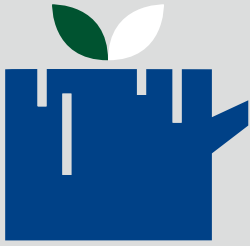


国立大学法人

# 東京農工大学

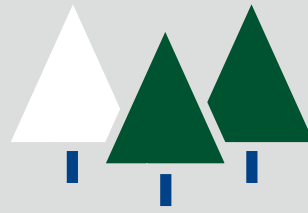
農学部/工学部



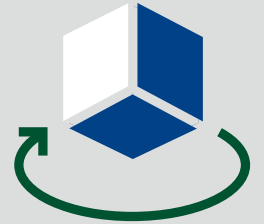
ECOLOGY



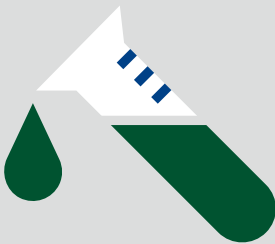
SPACE



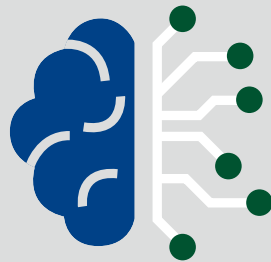
FOREST



VIRTUAL REALITY



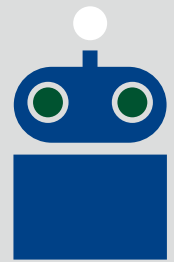
BIOTECHNOLOGY



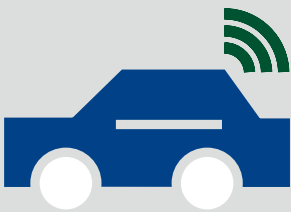
AI



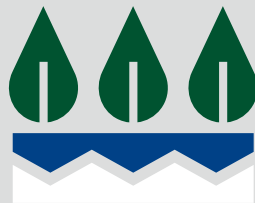
RENEWABLE ENERGY



ROBOTICS



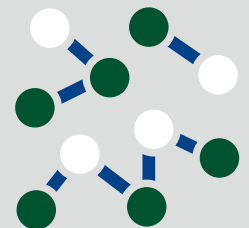
SMART MOBILITY



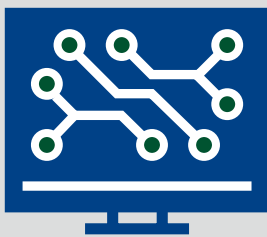
ECO MATERIAL



ANIMAL



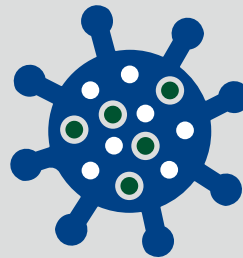
CELL



MACHINE LEARNING



RECYCLE



PANDEMIC



GREEN SUSTAINABLE  
CHEMISTRY

地球レベルの課題に挑む

GUIDE BOOK 2023

# 研究力で世界を変えていく!

東京農工大学の卓越した研究力は、アジアおよび世界から注目されています!

## MORE SENSE

美しい地球持続のために

地球をまわそう

それは地球を取り巻く問題に積極的に取り組み、科学の進化に貢献する姿勢です。

東京農工大学では、国際社会でリーダーとしての役割を担い、  
持続発展可能な社会づくりのための人材育成と知の創造に邁進し、  
未来の地球をまわす人材を世に送り出していきます。

### CONTENTS

- 02 研究力で世界をリードする教員たち
- 04 研究現場はこんなにグローバル!
- 06 イノベーションリーダーを育成する  
東京農工大学のグローバル教育
- 08 学長メッセージ/沿革

- 10 東京農工大学の学び
- 12 学部学科INDEX

- 14 **農学部** 生物生産学科
- 16 応用生物科学科
- 18 環境資源科学科
- 20 地域生態システム学科
- 22 共同獣医学科
- 24 **工学部** 生命工学科
- 26 生体医用システム工学科
- 28 応用化学科
- 30 化学物理工学科
- 32 機械システム工学科
- 34 知能情報システム工学科
- 36 大学院

- 38 キャリア支援/進路・就職
- 40 府中キャンパス
- 42 小金井キャンパス
- 44 CAMPUS LIFE
- 46 学生生活サポート
- 48 入試情報
- 49 オープンキャンパス

### 海外RANKING

#### 教員あたりの論文数

QS アジアWorld University Ranking2022 日本部門

no.1	豊田工業大学
no.2	<b>東京農工大学</b>
no.3	東京工業大学
no.4	電気通信大学
no.5	東京大学
no.6	長岡科学技術大学
no.7	名古屋工業大学
no.8	九州工業大学
no.9	京都大学
no.10	大阪大学

### 海外RANKING

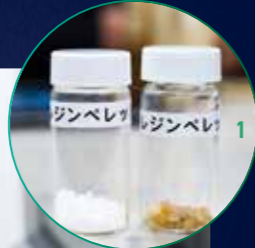
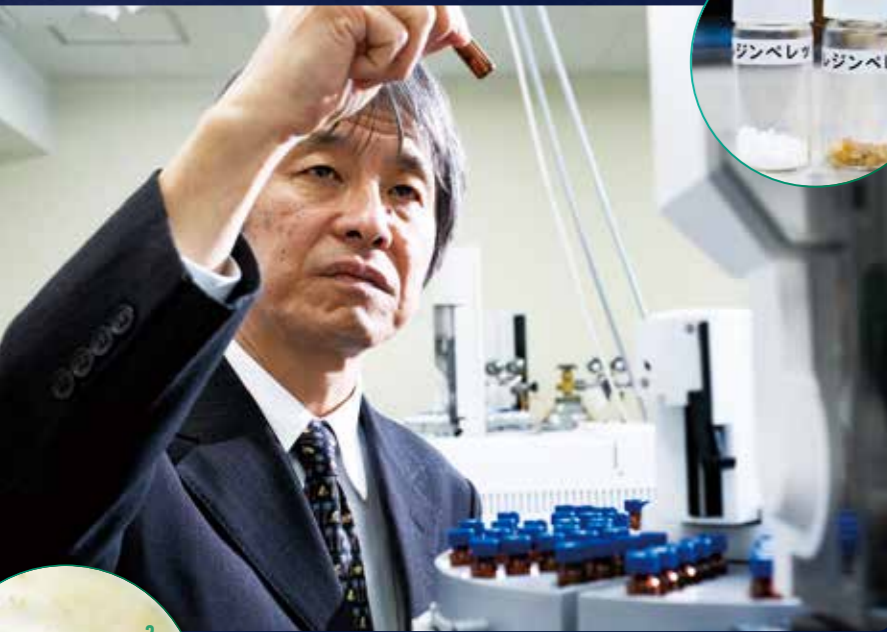
#### 教員あたりの論文被引用数

QS World University Ranking2022 日本部門

no.1	東京大学
no.2	東京工業大学
no.3	京都大学
no.4	<b>東京農工大学</b>
no.5	大阪大学
no.6	東北大学
no.7	名古屋大学
no.8	北海道大学
no.9	九州大学
no.10	九州工業大学



# 研究力で世界をリードする教員たち



## Agriculture 農

1 プラスチック製品の中間材料となるレジンペレット 2 海鳥の胃袋から採取したプラスチック

農学部 環境資源科学科 教授

**高田秀重** TAKADA, Hideshige

プラスチックゴミを収集する世界的ネットワークを構築

プラスチックによる海洋汚染が深刻化している。この問題に着目した農学部環境資源科学科の高田秀重教授は、2005年から世界中の研究者や市民に協力を呼びかけ、各国の海辺に漂着した微細なプラスチックを収集し、調査している。

「私が問題視したのは、世界中の海辺に漂着しているレジンペレットです。これは、プラスチック製品をつくる際の中間材料で、貨物船や工場から流出したと考えられます。直径数ミリの粒状で、物理的に異物だけでなく、有害な化学物質を吸着することもわかっています。これが海鳥の胃袋から見つかった例も多く、生体への影響も懸念されています」

高田教授は、Webサイト「International Pellet Watch」を主催し、世界中のレジンペレットの分布図を公開。協力者からサンプルをエメールで送ってもらう活動を続けている。

「すでに50か国以上のサンプルが集まり、収集したデータを国連機関に提供したこともあります。信頼できるデータを世界に発信することが、次世代の研究者の使命なのです」

## 一緒に世界を動かす



農学部附属感染症未来疫学研究センター 教授

**水谷哲也** MIZUTANI, Tetsuya

未来に出現する新型ウイルスを予測し世界に情報を発信する拠点をつくる

新型コロナウイルスの感染拡大によって世界は一変した。変異型の登場など不安材料はまだ消えない。そんななか農学部附属感染症未来疫学研究センターの水谷哲也教授は、多くの人が知らないウイルスの動きを注視していた。

「2017年くらいからコロナウイルス科の豚トロウイルスとピコルナウイルス科の豚エンテロウイルスが日本の養豚場でゲノムの組み換えを起こしていることを発見し、定期的に論文は発表しています。新型コロナウイルスの変異が話題ですが、これは点変異で大きな変化はありません。しかし、ゲノム組み換えが起これば、新たな機能を獲得することになります。豚ウイルスは数万年に1回の進化に直面しています」

新型コロナウイルスを含むウイルスの先端研究は、世界的にも注目されている。こうした成果をベースに今後は、新たなウイルスを発見する世界的拠点を構築する計画もある。

「未来に出現するウイルスを予測して、先回りして防疫すること。それが私たち感染症研究者のミッションなのです」

3 ペットの新型コロナウイルスの検査も行う 4 未知のウイルスを発見するための次世代シーケンサー

東京農工大学の教員たちは、学生の指導を行いながら、世界をフィールドにした研究に取り組んでいる。オリジナリティあふれる研究は、世界中の研究者から注目を集めている。世界を変える可能性を秘めた研究者たちがここにいる。

工学部 応用化学科 教授

**村岡貴博** MURAOKA, Takahiro

人工的に生体分子をつくり出し、革新的な脳梗塞治療法を確立する

脳梗塞を発症した際、現状では8時間以内の治療法しか確立されていない。これが1週間にまで伸びれば、どれだけの方が救われるだろうか。工学部応用化学科の村岡貴博教授は、この難題に「人工分子」と「血管再生」の観点で挑む。

「ヒトの身体を構成している分子や組織と同じ働きをする生体材料をゼロから人工的に作り、脳梗塞の革新的な治療法開発に応用しようと考えています」

村岡教授が目指したのは、体内にある「細胞外マトリックス」という組織だ。細胞の増殖や分化を制御するほか、傷が自然に治る創傷治癒にもこの組織が働いているという。「私たちは細胞外マトリックスの化学的な構造特性を模倣して、血管再生を誘導するペプチド「JigSAPゲル」を開発することに成功。脳梗塞発症1週間後のマウスに投与した結果、歩行機能障害を劇的に改善するデータを得ました」

この人工生体材料が臨床利用されれば、世界初の画期的な治療法になる。公的機関との共同研究で実用化を目指す。

## “手応え”を感じよう!



7 ヘッドセットに接続し、脳波を測定する装置 8 取得した脳波に特殊な信号処理を加える

## Engineering



5 ローターエバポレーターという装置を使ってペプチドを作製 6 材料の観察を行う顕微鏡

工学部 知能情報システム工学科 教授

**田中聡久** TANAKA, Toshihisa

特殊な信号処理と機械学習の融合で脳波が語りかける「意味」に迫る

ブレイン・マシン・インタフェース (BMI) をご存じだろうか。これは人間の脳とコンピュータを直接つなぎ、その人の意思を読み取り、コンピュータを自在に動かす技術だ。

「あなたが頭の中でイメージした音楽を脳波から読み取り、自動演奏で再現することも不可能ではありません」

そう語るのは、工学部知能情報システム工学科の田中聡久教授だ。専門は生体信号情報学。脳波を計測し、データから脳活動の特徴を抽出して、脳波が示す意味を読み解いていく。特殊な信号処理やAIの機械学習を用いる高度な研究だ。

「近年、音声認識や画像認識など機械学習によってAIの機能が飛躍的に進歩しました。ここに私が20年取組んできた脳波の信号処理技術を組み合わせることで研究の可能性が広がっています。現在は、脳波から頭の中の音楽を読み取る研究のほか、脳波からてんかんの発作を予測する技術など医療分野との共同研究も増えています」

脳波から頭の中をすべて可視化するSF映画のような技術が、東京農工大学の研究室から生まれるかもしれない。

# 研究現場はこんなにグローバル!

東京農工大学の研究室では、たくさんの留学生たちが日本人学生と一緒に学んでいます。そして、ここで学んだ卒業生たちは、世界中で活躍しています。グローバルな研究現場がここにあります。

## 超高齢社会を迎えた日本の政策を検証し 世界の高齢者の健康な暮らしに役立てる

「日本の高齢者政策の現状と課題」について研究しています。日本政府が超高齢社会に対応するために実施している施策や制度を公的資料や関連文献で調べ、その効果を検討します。日本は世界的に見ても超高齢社会の先駆者です。日本の政策の効果検証は、世界的にも価値があると確信しています。指導教員の轟海松先生は中国出身。日中両国における高齢者にやさしい環境づくりに関する提言を行うための研究を行っています。高齢化が急速に進む中国は、現在、高齢者政策の土台づくりの段階にあります。轟先生と一緒に中国における政策づくりの参考となる提言をまとめたいと思っています。高齢者政策を考える上で「食」や「地域」の問題は欠かせません。農学部には、こうした社会科学系の研究テーマもあるので、世界中の高齢者が幸福かつ健康に暮らすためのヒントをこの研究によって示すことが目標です。

大学院農学府  
農学専攻国際イノベーション農学コース  
修士課程2年

上村あかり  
KAMIMURA, Akari

在学中



## 機能改変した酵素を用いて 敗血症のバイオセンサーを開発する

アメリカ、アリゾナ州のグランドキャニオン大学で、訪問研究員をしています。現在は、敗血症の早期診断を可能にする新しいバイオセンサーの開発に取り組んでいます。バイオセンサーとは特定の生体分子を識別する装置のことで、私は敗血症の指標となる生体分子を検出するセンサー素子の開発を担当しています。このテーマでは、農工大在学中の研究で機能改変して得られた酵素を用いています。当時、取り組んでいたのは、ウェアラブル乳酸センサーの基礎研究。乳酸センサー素子となる乳酸酸化酵素の改良を担当しました。たんぱく質の機能改変の実験で得た知識やスキルは、すべて現在の研究でも役立っています。また、博士前期課程のとき、この研究の最新事情を知るためアメリカ留学を経験。留学時代の恩師の紹介で現在の仕事に就きました。このチャンスをフル活用して、機能改変した酵素を用いた新しいセンサーの開発に挑戦したいと思っています。

グランドキャニオン大学  
訪問研究員

平賀健太郎  
HIRAKA, Kentaro



大学院工学府  
生命工学専攻  
博士後期課程修了



## 幹細胞由来のバイオマテリアルで 梗塞を起こした心臓組織を再生する

エジプトの大学で獣医学部を卒業後、WISE-TUAT (東京農工大学卓越大学院プログラム) に留学しました。現在は、心筋梗塞などで停止した心臓組織を再生させるバイオエンジニアリングに取り組んでいます。具体的には幹細胞由来のバイオマテリアルを用いた組織再生技術の確立を目指しています。

最新の研究成果は、心血管分野で世界をリードする研究者会議「EUROECHO 2021」でシェアされました。また、WISE-TUATに参加したことで、異なる専門分野の研究者との共同研究プロジェクトも進んでいます。

私の目標は、専門である組織工学 (Tissue Engineering) で生み出されたバイオマテリアルを世界中の多くの人に届けることです。いずれ起業して、自らの研究成果をビジネス化するつもりです。AIなどを用いて心臓組織の再生技術をさらに発展させ、予防医療にも役立てていきたいと思っています。

在学中

大学院農学府  
共同獣医学専攻博士課程2年  
卓越大学院プログラム所属

Hussein Mohamed  
Elhusseiny Ali Elbayoumi



## 教授との議論や国際学会参加で 研究ビジョンが格段に進化した

中国の北京交通大学で、「デジタル信号処理」「デジタル画像処理」「パターン認識」など、いくつかのコースで指導を担当しています。現在の研究テーマは、交通標識の検出と認識、署名の確認、画像シーンの分類など。東京農工大学での研究成果が、研究においても指導の上でも大いに役立っています。大学院工学府での研究生活は非常に有意義で、オープンで親切的な指導教授と議論した日々は私の財産です。博士課程時代は、国際学会に参加する経済的な支援をもらい、私の研究ビジョンは格段に広がりました。また、国際的なコミュニケーション力も存分に鍛えられました。研究施設も充実していて、すぐに実践的な研究に取り組める環境も東京農工大学の魅力だと思います。今後の目標は、「人工知能」「機械学習」の分野で成果を上げること。世界の人々の生活をよりよくするために、少しでも貢献できればと思っています。

北京交通大学  
電子情報工学部 教授  
黄琳琳  
Huang LinLin

大学院  
生物システム応用科学府  
生物機能システム科学専攻  
博士課程  
2002年修了



# 東京農工大学のグローバル教育

東京農工大学では、各学生の目的や語学カレベル、専門に応じて、さまざまな留学プログラムを用意しています。短期語学留学から専門性の高いセメスター派遣、本格的な研究留学まで多彩なチャンスを提供し、グローバルに活躍するイノベーションリーダーを育成しています。



各留学プログラムの  
詳細はこちら  
(海外留学ポータルサイト)

## 世界41か国・地域のネットワーク

東京農工大学は、世界41の国・地域に渡る161大学・研究機関(2021年5月1日現在)と国際学術交流協定を締結し、活発に留学や研究派遣を行っています。協定校からも多く学生を受け入れており、合同の授業、研究活動、そしてキャンパス生活を通しての交流があります。なお、海外協定校への留学(オンラインを含む)は、原則として授業料等を支払う必要はありませんが(一部例外あり)、参加費を徴収する場合があります。

10日~1か月間

### 語学研修プログラム

英語圏で将来につながる語学力を身につける

主に英語圏で行う短期の語学研修プログラムです。学部1~3年生が主な対象で、夏季・春季の休暇中に実施されます。派遣先は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、シンガポールなど。カリフォルニア大学デービス校など、海外の名門大学のキャンパス内で学ぶチャンスもあります。将来の研究留学につながる語学力をここで身につけます。



10日~1か月間

### 短期派遣専門プログラム

現地の農業や文化を体験学生と交流するチャンスも

学生の学びテーマに合わせて、海外の現場視察をするための短期留学プログラム。学部1~3年生が主な対象で、夏季・春季の休暇中に実施されます。派遣先は、タイ、マレーシア、インドネシア、ハワイ、ニュージーランドなど。現地の農業や文化などを体験できるほか、現地の学生と交流するチャンスもあります。



4か月~6か月間

### セメスター派遣プログラム

現地で文化やビジネスを学ぶ中長期の派遣プログラム

東南アジアをメインとする派遣先で、1学期以上を過ごし、現地の文化やビジネスについて学ぶプログラム。対象は学部3~4年生です。派遣先は、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ドイツ、フランス、オランダ、イタリア、フィンランドなど。現地でインターンシップを経験できるプログラムもあります。



1か月~1年間

### 研究留学

海外大学の研究室に所属し本格的な研究に参加できる

学生が各自の研究テーマに合わせて派遣先を決める本格的な研究留学。学部4年生から大学院修士課程の学生が主な対象で、派遣先は世界各国の大学や研究機関、現地の研究室に所属し、本格的な研究に参加します。研究活動を行うため、一定レベルの英語力が求められます。日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を利用した支援も可能です。



1年間~

### 学位取得

海外の大学で学位を取得できるプログラム

東京農工大学に在籍しながら、提携大学に留学し、学位を取得できるダブルディグリープログラム。学部4年生から大学院修士課程の学生が主な対象で、期間は原則1年間。派遣先は、アメリカ、イタリア、インドネシアの提携大学など。現地で本格的な研究に従事し、グローバル人材を目指すことができます。



## 協定締結校数

アジア81校、ヨーロッパ50校、北アメリカ13校、南アメリカ5校、中東6校、オセアニア2校、アフリカ3校、国際連合1校(2021年5月1日現在)

## 日本国内にいても「国際力」が身につく

「国際力」を身につけるための取り組みは、キャンパス内でも行われています。2019年度からスタートした新カリキュラムでは、教養教育としての英語科目において「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく伸ばす科目を配置し、英語によるディスカッションやプレゼンテーションなどを行います。また、英語力向上推進プログラムの一環として、TOEFLテスト対策講座を学内にて実施し、英語による講義を受講し単位が取得できるレベルの英語力育成を目指しています。その他、留学生とともに学びながら、日本での生活をサポートする学生の活動(パティ・クラブ)が盛んに行われ、英語でのコミュニケーション力やグローバルな視点を培うことにつながっています。

## INTERVIEW01

### コロナ禍も多様なオンライン海外研修を実施実留学と併用して、留学機会を創出します

グローバル教育院 准教授

### 横森 佳世

YOKOMORI, Kayo

実留学の中止を余儀なくされたコロナ禍の期間中、東京農工大学では、オンライン海外研修を積極的に整備しました。主に語学系の研修と、専門科目を学べる研修の2種類を実施しています。期間はともに1週間から4週間ほど。オンラインではありませんが、他国の留学生や現地学生と交流する機会があります。参加した学生からは、「英語を学ぶモチベーションが高まった」「勇気を出してプレゼン発表をしたところ、先生や学生からポジティブな感想をもらって他国の友人もできた」「この経験を糧に今度は実留学を経験してみたい」といった声が聞かれました。実留学再開の機会も常に伺っており、入国制限が緩和された2021年の秋には3人の学生がセメスター派遣でタイへ行くことができました。グローバル教育院では、今後も実留学とオンライン留学を併用しながら、留学の機会をつくれるよう努めます。大学入学後に留学したいという意欲ある方には、存分にプログラムを活用してほしいと思っています。



## INTERVIEW02

### 理工系学生向けのオンライン留学に参加次はネイティブ学生と英語で議論をしてみたい

工学部 応用化学科 2年

### 小松夏旗 KOMATSU, Natsuki

東京都立国立高等学校出身

学部1年次の春休みにカリフォルニア大学デービス校の理工系学生向けオンライン留学プログラム「Interdisciplinary STEM Seminar」を受講しました。期間は3週間で、平日の午前中に英語で授業を受けます。印象に残ったのは、起業家精神を学ぶ「Introduction to Entrepreneurship (アントレプレナーシップ)」という授業でした。AppleやUberなど、カリスマ起業家の事例を学びつつ、参加メンバーとオンライン上でグループをつくり、新規事業計画を考える課題にも挑戦しました。私は3人グループで、学生と企業をつなぐプラットフォームとなるスマホアプリを考案し、英語で発表しました。参加していた他大学の学生は、みんな英語力が高く、自分の考えを自由に発言している姿に驚かされました。また、アメリカ人学生にとって、起業は就職、進学に次ぐ第3の選択肢だと聞き、日本との違いを実感しました。次は、セメスター派遣プログラムへの参加を視野に入れ、英語力アップに取り組んでいます。



## 学長 MESSAGE

現在、世界では「持続発展可能な社会の実現」が求められています。東京農工大学では、農学、工学およびこれらの融合領域における教育研究を通して、将来この課題を解決できるような学生を育成しています。

# 自分だからこそ できる研究に邁進し、 「本当の自由」を 手に入れよう

東京農工大学は農学部と工学部からなる日本で唯一の国立大学です。農学とは、未来に向かって自然と人のつながりを探求する分野。一方、工学はテクノロジーによって人の生活がより豊かになる新しい世界を生み出す分野です。私は、農学と工学の結集によって、次世代を支えるさまざまな知恵が世の中に広められるものと確信しています。地球45億年の歴史の中で培った自然界からの学びや、ものづくり、AIなどに代表される最新のテクノロジーが融合するとき、人類が次になすべきことは何かを知ることができるのではないでしょうか。

この未知への挑戦に不可欠なのが広い視点と柔軟な発想に基づく科学技術の探究です。例えば、世界の食糧問題を考えたとき、食物を増産する努力だけでは本質的な解決は得られません。自然の原理を深く知ると共に、人とは何か？ 本当の幸せとは何か？ といった問いを立てる素養も求められます。そのため、東京農工大学では、次世代の研究者・技術者を育成するために、科学技術を越えた広い学びの目標を明確化することにも力を入れています。

既存の領域を越えた研究活動は「自由な人として生きるための真理の探究」につながります。真剣に学ぶこと、研究することとは、「自由に生きることへの挑戦」でもあります。自分を知り、世界を知り、視野を広げ、自信を持つことで、人はどんどん自由になれます。未知の研究の扉を開くことは、とても勇気がいることですが、幅広い知識と技術を身につけ、自由になった人は、勇気ある決断をして行動することができます。そのとき初めて、世界を変えるようなイノベーションが生まれるのです。

大学が目指すのは、授業や研究を通じて、学生たちの創造力に火をつけることです。農学・工学の世界レベルの知見が結集するこの場所で、自分の未知の才能を発見してほしいです。そして、自由を手にして、グローバルな社会に羽ばたいて行ってほしいと思っています。

2024年に、東京農工大学は創基150周年を迎えます。皆さんの自由な創造力が、この大学の次の150年を支えていくことでしょう。

## 東京農工大学 学長 千葉一裕

1983年、東京農工大学大学院農学研究科農芸化学専攻修了。企業における研究職を経て、1990年より東京農工大学助手、2004年より教授。2014年に副学長（イノベーション担当）、2017年に農学研究院長を経て、現在に至る。東京都出身。

## 東京農工大学憲章

(抜粋)

### 基本理念

「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念とする。

### 教育

科学技術系大学院基軸大学として、豊かな教養・高い倫理観と広い国際感覚を身につけた、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる先駆的で人間性豊かな指導的研究者・技術者・高度専門職業人を養成するとともに、その社会的輩出に貢献する。

### 研究

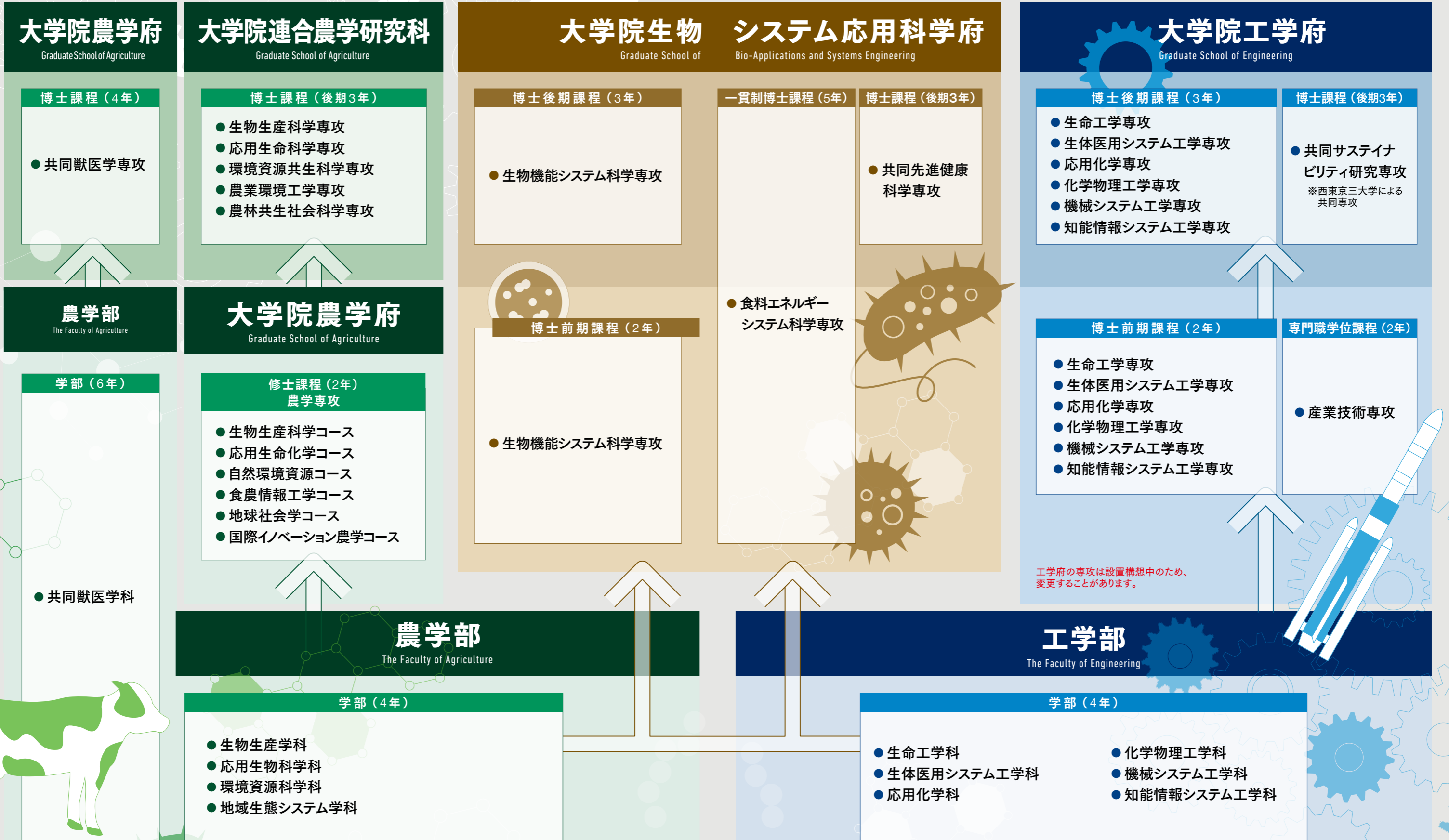
人類社会の基幹を支える農学、工学およびその融合領域に関わる基礎研究から科学技術に直結する応用研究に至る「使命志向型研究」の遂行により、卓越した新しい知の創造を推進する。また、持続可能な社会の構築に向けた、人と自然が共生するための「科学技術発信拠点」としての役割を果たす。

## 東京農工大学の沿革

- |       |   |       |  |
|-------|---|-------|--|
| 1874年 | 内務省勸業寮内藤新宿出張所を設置<br>農事修学場（農学部創基）<br>蚕業試験掛（工学部創基）  | 2005年 | 大学院技術経営研究科（専門職学位課程）を設置   |
| 1949年 | 東京農工大学（農学部・繊維学部）を設置   | 2006年 | 大学院共生科学技術研究部を大学院共生科学技術研究院に名称変更<br>大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部を大学院農学府、大学院工学府、大学院生物システム応用科学府に名称変更 |
| 1962年 | 繊維学部を工学部に改称   | 2010年 | 大学院共生科学技術研究院を大学院農学研究科及び大学院工学府に改組   |
| 1965年 | 大学院農学研究科（修士課程）を設置   | 2011年 | 大学院技術経営研究科（専門職学位課程）を改組し、大学院工学府産業技術専攻（専門職学位課程）へ再編   |
| 1966年 | 大学院工学研究科（修士課程）を設置   | 2012年 | 岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科を設置   |
| 1985年 | 大学院連合農学研究科（博士課程）を設置   | 2014年 | 創基140周年  |
| 1989年 | 大学院工学研究科（修士課程）を工学研究科（博士前期・後期課程）に改組  | 2016年 | グローバルイノベーション研究院（研究組織）を設置   |
| 1995年 | 大学院生物システム応用科学研究所（博士前期・後期課程）を設置  | 2018年 | グローバル教育院（教育組織）を設置<br>大学院農学府に東京農工大学大学院、岩手大学大学院共同獣医学専攻（4年制博士課程）を設置                                       |
| 2004年 | 国立大学法人東京農工大学に移行<br>大学院（農学研究科、工学研究科、生物システム応用科学研究所）を改組し、大学院共生科学技術研究部（研究組織）及び大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部（教育組織）に再編 | 2019年 | 大学院工学府に東京外国語大学、電気通信大学と本学の西東京三大学による「共同サステナビリティ研究専攻」（博士課程）を設置  |

# 東京農工大学の学び

東京農工大学では、学部4年間で研究・教育を履修した後、大学院で専門分野をより深く学ぶことができます。学部から修士課程、博士課程まで続く、学びをイメージしてみましょう。



# 農学部

農学部は5学科から構成され、農学、生命科学、環境科学、森林科学、人文社会科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続的発展が可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できる、先駆的で人間性豊かな人材を育成します。

## 学部長メッセージ



国際社会の課題を解決できる  
確かな専門力と創造力を養成

## 船田 良 FUNADA, Ryo

農学は「食」「生命」「資源」「環境」など多彩なテーマを網羅的に学べる総合科学です。農業、林業、畜産業に貢献するだけでなく、環境汚染調査やエネルギー生産も研究対象です。最近注目されるAIやロボットを使った「スマート農業・林業」の研究も農・工が連携した東京農工大学の研究分野です。また、農学部は海外との研究交流も盛んです。ここで確かな専門知識に裏打ちされた「創造力」を身につけ、国際社会に貢献できる研究者を目指してほしいと思います。

学科名	学びのキーワード
生物生産学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料生産</li> <li>スマート農業</li> <li>土壌有機物</li> <li>植物-微生物共生</li> <li>植物栄養生理</li> <li>植物ホルモン</li> <li>蚕</li> <li>昆虫利用</li> <li>家畜生産</li> <li>アニマルウェルフェア</li> <li>農業経済</li> <li>国際開発</li> </ul>
応用生物科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子組換え</li> <li>微生物</li> <li>生理活性物質</li> <li>糖タンパク質</li> <li>バイオテクノロジー</li> <li>昆虫</li> <li>細胞外マトリックス</li> <li>癌細胞</li> <li>免疫・アレルギー</li> <li>植物分子育種</li> <li>食品化学</li> <li>ウイルス</li> </ul>
環境資源科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌・水圏・大気汚染</li> <li>生態系影響</li> <li>マイクロプラスチック</li> <li>生元素循環</li> <li>資源リサイクル</li> <li>バイオレメディエーション</li> <li>エコマテリアル</li> <li>光化学</li> <li>木造耐火建築</li> <li>木質バイオマス</li> <li>バイオ燃料</li> <li>環境計測</li> </ul>
地域生態システム学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続型・循環型社会</li> <li>生産環境基盤・システム</li> <li>防災・減災</li> <li>水環境保全</li> <li>環境教育</li> <li>流域資源管理</li> <li>自然エネルギー利用</li> <li>人と動物の関係</li> <li>森林計画</li> <li>森林生態系</li> <li>河川生態系</li> <li>自然再生</li> </ul>
共同獣医学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>獣医・畜産</li> <li>解剖・生理</li> <li>薬理・病理</li> <li>公衆衛生</li> <li>感染症・伝染病</li> <li>動物繁殖</li> <li>伴侶動物臨床</li> <li>産業動物臨床</li> <li>動物園・水族館</li> <li>食の安全</li> </ul>

## アドミッションポリシー

(学生受入方針)

地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ学生を求めます。

## 学びの目的・学びの特色

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、森林科学、人文社会科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続的発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的および応用的能力を展開させることができる人材を養成することを目的としています。

## 4年間の学びの流れ (カリキュラム)



# 工学部

工学部の6学科では、「バイオ/医工系」「エネルギー/環境/マテリアル系」「モビリティ/ロボティクス/コンピュータ/AI系」の3つの専門性を軸に、複数の専門領域を学べるカリキュラムを用意しています。実社会のニーズを反映した分野横断的融合研究に挑戦できる環境です。

## 学部長メッセージ



工学分野の高度な専門知識と  
世界を読み解く広い視野を養う

## 中村 暢文 NAKAMURA, Nobuhumi

東京農工大学工学部のミッションは「科学技術で世界を変える人材を輩出すること」です。そのため、工学分野の高度な専門知識に加え、現代社会を読み解く幅広い視野を養成するカリキュラムを整備しています。3つの専門性を軸にした6学科では、将来像を意識しながら、複数の専門分野を学べます。さらに国際交流や研究留学の機会も豊富に用意しています。多様性を受け入れながら、AI時代、グローバル時代を力強く生き抜くエンジニアを育成します。

学科名	学びのキーワード
生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生医療</li> <li>バイオインフォマティクス</li> <li>バイオセンサー</li> <li>抗体工学</li> <li>創薬化学</li> <li>植物工学</li> <li>核酸工学</li> <li>バイオナノマテリアル</li> <li>マリンバイオテクノロジー</li> <li>バイオ燃料電池</li> </ul>
生体医用システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>医用超音波</li> <li>医用光・電子デバイス</li> <li>生体医用光学</li> <li>バイオフォトニクス</li> <li>ロボット計測システム</li> <li>3次元画像</li> <li>光応用計測</li> <li>生体高分子</li> </ul>
応用化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機合成化学</li> <li>分子エレクトロニクス</li> <li>バイオマテリアル</li> <li>有機金属化学</li> <li>電気化学</li> <li>半導体化学</li> <li>分子触媒化学</li> <li>グリーンケミストリー</li> <li>高分子合成化学</li> <li>ナノ医療</li> </ul>
化学物理工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学工学</li> <li>低環境負荷・高効率生産システム</li> <li>環境発電技術</li> <li>新素材創製</li> <li>環境計測デバイス</li> <li>エレクトロニクス</li> <li>機械情報コミュニケーション</li> </ul>
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボティクス</li> <li>スマートモビリティ</li> <li>航空宇宙工学</li> <li>熱流体工学</li> <li>生産システム</li> <li>先端材料</li> <li>知能機械</li> <li>マイクロ・ナノシステム</li> <li>計算工学</li> </ul>
知能情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工知能</li> <li>信号処理</li> <li>バーチャルリアリティ</li> <li>モーションコントロール</li> <li>電磁波</li> <li>通信工学</li> <li>計算機ネットワーク</li> <li>パターン認識</li> <li>計算機アーキテクチャ</li> <li>マイクログリッド</li> </ul>

## アドミッションポリシー

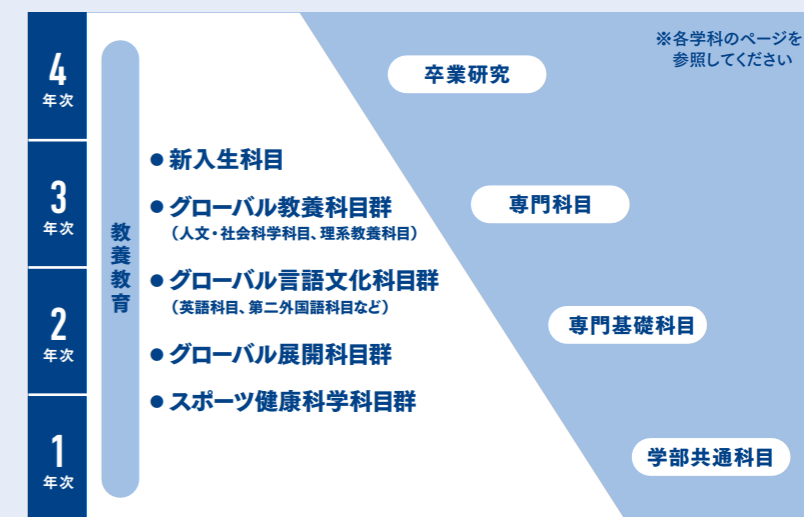
(学生受入方針)

大自然の真理に対する探究心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持った学生の入学を希望します。

## 学びの目的・学びの特色

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、そして、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性を有するだけでなく、人類が直面している諸課題に対して、多面的に考察して判断し、他者と協働して課題解決に取り組む人材を養成することを目的としています。

## 4年間の学びの流れ (カリキュラム)





BIOLOGICAL PRODUCTION  
生物生産学科



21世紀の食料と  
食の安全を科学する



農業をあらゆる角度から研究し、人類を支える「食」の明日を担う生物生産学科。農業生産は環境の保全にも重要な役割を果たしており、再生可能なバイオマスエネルギーの供給源としても期待されています。

研究室 PICKUP



教授 本林 隆  
MOTOBAYASHI, Takashi

水生昆虫に農薬が与える影響を解明し、  
環境と調和した生産技術を開発する

圃場に棲息する昆虫を、農薬・殺虫剤による影響からどう守るのか。私が取り組んでいるのは、「応用昆虫学」という研究分野。現在、一般的に使用されている農薬や殺虫剤は、害虫以外の生物にも悪影響を与えてしまいます。そのため、作物の生産性を維持しつつ、圃場で暮らすさまざまな生物の多様性も維持できる農薬の成分や濃度、使い方を検証することが必要なのです。フィールドでの研究は思い通りにいかないことも多いですが、環境に調和した生産技術を開発することが、この研究の目標です。

本学科が目指すもの

農産物の生産から消費まで、人と自然を結びつける「農の営み」に関連する学問分野を幅広くカバーし、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる最先端の科学と技術に関する知識を身につけます。そして、その知識を国内外農業の持続的発展、農産物の流通・加工・消費、農業の多面的機能の積極的利用などに活かすことのできる人材の養成を目指しています。

カリキュラム

遺伝・発生・酵素反応など生物学の基礎から、光合成・養分吸収など生物生産機能の解析、群落構造・家畜飼養管理など生産プロセスの解析と技術開発、生産物の品質評価、生産物の流通・消費システムなど、多岐にわたる内容が体系的に構成されています。

学年	専門科目			
	学科共通科目	生産環境系科目	植物生産系科目	動物生産系科目
4 年次	卒業論文			
3 年次	農業微生物学 農産物製造学 生物生産学英語入門 アグリバイオ実験 学外実習（農家） 学外実習（研究所） 卒業論文	土壌環境学 作物保護学	園芸学II 植物育種学	家畜飼養学 家畜繁殖学 家畜育種・管理学 蚕糸学 昆虫利用学 家畜衛生学
2 年次	生化学 農業分野専攻実習 生物生産学実験基礎	土壌学 農業気象学	植物生態生理学 作物学 植物栄養・肥料学 園芸学I	農業昆虫学I 家畜形態・生理学 農業昆虫学II
1 年次	生物生産学原論 情報処理・生物統計学	作物栽培学 フィールド実験実習I フィールド実験実習II	植物生理学 植物分子遺伝学	畜産学総論

生物生産学科の学び

生産環境系	農業生産技術学/土壌学/植物栄養学/国際生物資源学
植物生産系	園芸学/作物学/植物育種学/遺伝子細胞工学
動物生産系	畜産学/動物衛生学/昆虫機能生理化学/蚕学
農業経営経済系	農業経済学/農業経営・生産組織学/農業市場学/国際地域開発学

卒業後の主な進路

- 農林水産省
  - 東京都
  - 神奈川県
  - 和歌山県
  - 熊本県
  - 北海道
  - 日清フーズ
  - 日本アクセス
  - ヤンマーホールディング
  - 湘南ゼミナール
  - 日清オリオグループ
  - タイヘイ
  - サカタのタネ
  - クボタ化水
  - パナソニック・インダストリアル・マーケティングアンドセルス
  - リーフス
  - スガノ農機
  - よつ葉乳業 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
  - 東京大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- 農林水産省
  - 農業・食品産業技術総合研究機構
  - 産業技術総合研究所
  - 昭和女子大学
  - パナソニックシステムソリューションズジャパン
  - NTTデータアイ
  - アサヒビール
  - JSOL
  - 山崎製パン
  - JA全農
  - 日本製紙クレシア
  - 船昌商事
  - PwCあらた有限責任監査法人
  - 日本ニュートリション
  - 全国農業協同組合連合会
  - タケショー
  - 日本工営
- 進学
- 東京農工大学大学院連合農学研究科

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許（理科）
- 高等学校教諭1種免許（理科・農業）
- 博物館学芸員

LABORATORY PICKUP

学生の声



阪井花帆  
SAKAI, Kaho

大学院農学部農学専攻  
生物生産科学コース修士課程1年  
東京都立武蔵高等学校出身

STUDENT VOICE

土壌劣化が進む南インドを対象に  
持続可能な農業のあり方を追究する

南インドのソルガム（雑穀）畑を研究対象として、土壌劣化が進む熱帯地域において、持続可能な農業を行うための解決策を探っています。土壌の肥沃度を回復させるためには、土壌中に有機炭素（OC）を蓄積させることが重要だとわかっています。しかし、熱帯地域では気温が高いために微

生物が活発に活動し、有機炭素の分解を促進してしまいます。結果として、南インドの主要穀物であるソルガムの収量は、世界平均の約半分ほどの生産性に。土壌中の有機炭素量を適切に管理するメカニズムの解明が喫緊の課題です。情勢が落ち着いたら実地研究をする予定です！

APPLIED BIOLOGICAL SCIENCE  
応用生物科学科



「生命」に未知の可能性を求めて  
人類の発展に貢献する



化学と生物学を基盤とし、分子から細胞、個体、さらにはその相互作用まで一連の現象を解明・応用することで「生命」の未知なる可能性を解明し、人類に有益な生命科学の発展に貢献することを目的として研究を行っています。

定員

71名

研究室 PICKUP



准教授 | 宮本潤基  
MIYAMOTO, Junki

食べ物が身体にとって有用な生体調整機能を  
有することを分子レベルで明らかにする

「健康の維持及び増進を促す」などと宣伝される食事がどう身体に効くのか説明できますか？ 私の研究室では、腸管機能を起点として、食と腸内環境との相互作用、生体側の細胞の働きなどに着目して、分子レベルでの食の重要性を明らかにしています。実験では、食事に豊富に含まれる脂肪酸と生体側の受容体の関係性に、腸内細菌がどのように関与しているかを調べます。分子生物学をベースに、動物を使った生理学的な実験、培養した細胞を使う実験、ゲノミクスやメタボロミクスと呼ばれる解析手法を用いて、研究を行っています。

に豊富に含まれる脂肪酸と生体側の受容体の関係性に、腸内細菌がどのように関与しているかを調べます。分子生物学をベースに、動物を使った生理学的な実験、培養した細胞を使う実験、ゲノミクスやメタボロミクスと呼ばれる解析手法を用いて、研究を行っています。

本学科が目指すもの

微生物、動物、植物などの生命機能を、化学・生物学を基盤として深く探究・理解することを目指します。バイオテクノロジーでは、バイオサイエンスの成果を食品・医薬・農薬をはじめとする生活関連有用物質の高度な生産に適用することを目標としています。バイオサイエンスとバイオテクノロジーの分野で活躍するための教育を行い、人類の発展に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

化学と生物学を基盤とし、分子、細胞、個体、個体と群集の活動、その相互作用に至る一連の生命現象と生物機能を解明し、生命科学の発展に貢献することを目的としています。そのため、「生命」と「生物」を身近なものとして捉えるカリキュラムを用意しています。

学年	学科専門科目	学部共通専門科目
4 年次	生物統計学 科学英語論文演習Ⅰ 科学英語論文演習Ⅱ 卒業論文	国際展開力科目Ⅰ 国際展開力科目Ⅱ 共通科目 海外研修科目 国際農学科目
3 年次	生体高分子化学 遺伝子工学 応用微生物学 食品化学Ⅱ 栄養化学 植物病理学 応用昆虫学 細胞工学 植物工学	食品工学 食品製造学 食品衛生学 農業科学 応用生物科学専門実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅲ 応用生物科学専門実験Ⅳ 応用生物科学専門実験Ⅴ 応用生物科学専門実験Ⅵ
2 年次	有機化学Ⅲ 生化学Ⅱ 分析化学 分子細胞生物学 動物生理学 有機合成化学 微生物生化学 天然物有機化学 機器分析化学 食品化学Ⅰ 生物相関学 バイオロジカルコントロール 応用生物科学共通実験Ⅰ 応用生物科学共通実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅰ	
1 年次	情報処理学 有機化学Ⅰ 生化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 分子生物学 植物生理学 植物保護学 農場実習	

応用生物科学科の学び

分子生命化学	生物化学/遺伝子機能制御学/発酵学/植物工学/遺伝子工学/動物細胞生物学
生物機能化学	生物制御化学/生体情報化学/生物有機化学/食品化学/栄養生理化学/応用蛋白質化学/代謝機能制御学/応用植物生化学
生物制御学	植物病理学/応用昆虫学/応用遺伝生態学/分子環境生物学/細胞分子生物学

卒業後の主な進路

- 学部卒
- 農林水産省
  - 経済産業省
  - 東京都
  - 横浜市
  - 明治
  - 森永製菓
  - 協和発酵キリン
  - 日本たばこ産業
  - 中外製薬
  - 日本化学工業
- 東京化成工業
- カネボウ化粧品
- 資生堂
- トヨタ自動車
- クミアイ化学工業 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
  - 東京大学大学院
  - 京都大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- 修士
- 農林水産省
  - 総務省
  - 特許庁
  - 農業・食品産業技術総合研究機構
  - 明治
  - 雪印メグミルク
  - 森永乳業
  - 小林製菓
  - クノール食品
  - キュービー
  - 富士薬品
- 花王
- 北興化学工業
- 積水化学工業
- 日産化学 など
- 博士
- 東北大学
  - 日本大学
  - 第一三共
  - 森永乳業
  - キュービー
  - 東京化成工業 など

取得できる免許・資格

- 食品衛生監視員・管理者 (任用資格)
- 中学校教諭1種免許 (理科)
- 高等学校教諭1種免許 (理科・農業)
- 博物館学芸員

学生の声



森 夏美  
MORI, Natsumi

大学院農学府 農学専攻  
生物生産科学コース修士課程1年  
埼玉県立浦和第一女子高等学校出身

衛星画像を用いて森林害虫マイマイガの  
大発生の動態を解明する

研究対象は、森林害虫マイマイガです。この幼虫は、約10年周期で大発生し、街路樹や森林などの葉を丸裸になるほど食い尽くします。そこで私は、衛星画像を用いたマイマイガの大発生の個体群動態の解明に挑んでいます。実験では、ロシアの衛星画像を入手し、マイマイガの被害を受けた森林と健康な森林を比較

します。従来は人の目で行われていた個体群密度の推定が、衛星画像を使った分析によって代替できれば、より広範囲での調査が可能になります。マイマイガ大発生の動態を解明して、効果的な防除に役立てたいです。

生物学、化学、物理学、地学など、環境と資源の問題に科学のメスを入れる「地球の医学」を学びます。地球からミクロの世界まで、ヒトを取り巻く「環境」の研究を通じて、循環型社会の構築に貢献していきます。

定員

61名



## 環境と資源の問題にメスを入れる「地球の医学」を学ぶ



### 研究室 PICKUP



准教授 | 堀川 祥生  
HORIKAWA, Yoshiki

### 木質バイオマスを有効活用することで森林から循環型社会を実現する

樹木の生長とは「二酸化炭素の資源化」を意味します。ここで生産される資源こそが「木質バイオマス」です。その特徴は、光と水がもたらした恩恵を樹木として永年にわたって森林に蓄積し、必要ときに資源として活用できる点です。木質バイオマスによる材料やエネルギー

としての利用は、化石資源の消費量を減らし、循環型社会の実現に貢献します。そのために我々はマクロからミクロにまで及ぶ木質バイオマスの「構造」と「機能」を解明し、環境にやさしい適材適所な利用を目指して研究に取り組んでいます。

## 本学科が目指すもの

環境問題は、人類すべてに共通する深刻な課題です。限りある化石燃料に依存した大量生産、大量消費、大量廃棄によって支えられてきた私たちの豊かさは、21世紀初頭の今、曲がり角を迎えています。環境資源科学科では、これからの人類が地球環境と調和して持続的に生きていくための環境資源科学を推し進め、環境問題の解決や循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

## カリキュラム

環境問題に対して、社会的ニーズに即した理解・行動ができる人材を育成します。環境と資源の広範囲な問題を対象とした生物学、化学、物理学、地学を基礎として広い知識を習得し、実験・実習・講義を組み合わせた多彩なカリキュラムで学びます。

学年	専門科目	
	学科基礎科目	学科専門科目
4年次		科学英語論文講読 卒業論文
3年次	代謝生化学 機器分析学I 水溶液化学 資源高分子物理学 環境資源有機化学 木質資源物理学 樹木生態生理学 微生物生理生態学 森林実習 機器分析学II 環境情報解析学 環境気候学 環境資源科学実験I(物理学応用) 環境資源科学実験II(化学応用) 環境資源科学実験III(生物学応用) 環境資源科学実験IV(地学)	生分解学 森林資源利用学 森林資源形成学 環境植物学 紙パルプ科学 住環境構造学 ライフサイクルアセスメント 資源分解・廃棄学 森林・林業論 環境分子生物学 環境アセスメント学 環境資源科学特別講義I 環境資源科学特別講義II 環境資源科学特別講義III 環境資源科学特別講義IV 環境資源科学特別講義V 環境資源科学特別講義VI
2年次	環境資源熱力学 森林資源科学 環境資源科学実習B 物質生化学 資源材料力学 化学結合論	大気化学 木質資源化学 陸水環境学 環境毒性学 資源高分子化学 植物組織形態制御学 エコマテリアル学 環境土壌学 環境汚染化学 環境微生物学 生態系生態学
1年次	情報処理学 地球化学 生態系管理学 環境資源科学実習A 環境分析化学 環境計測学	住環境学 資源リサイクル学 地圏環境学 大気環境学 海洋環境学

## 環境資源科学科の学び

環境資源科学	環境物質科学/環境汚染解析/生物圏変動解析/環境修復/植物環境/生活環境/バイオマス・リサイクル
--------	--

## 卒業後の主な進路

- 東京都
  - ジョンソンコントロールズ
  - 東急建設
  - ナチュラルキッチン
  - 進和テック
  - パナソニック
  - 中国木材
  - 東京ガス
  - NTTコム ソリューションズ
  - 日商エレクトロニクス
  - 東日本電信電話
  - JFE商事
  - ナイス
  - NHS
  - ユーロフィン分析科学研究所
  - 講談社
  - アジア航測
  - パラドックス など
- 進学
- 東京農工大学大学院
  - 京都大学大学院
  - 東京大学大学院
  - 琉球大学大学院 など

## 大学院進学後の主な進路

- 林野庁
- 愛知県
- 埼玉県
- エヌ・ティ・ティ・コムウェア
- 大建工業
- 日清紡ホールディングス
- 大和ハウス工業
- 関西ペイント
- 住友林業
- 朝日ウッドテック
- 鉄道情報システム
- TOMOEGAWA (巴川製紙所)
- 材料科学技術振興財団
- ハイモ
- ランドフローラ
- 水ing
- 日立ソリューションズ
- 栗田工業
- 住友化学
- 東芝デジタルソリューションズ
- ヤヨイサンフーズ
- 日比谷アメニス
- アストラゼネカ
- ザイエンス
- 東洋ビジネスエンジニアリング
- コニカミルタ など

## 取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

### 学生の声



伊藤 直生  
ITO, Naoki

大学院農学府 農学専攻  
自然環境資源コース 修士課程2年  
私立東海高等学校出身

### バイオマス燃焼による大気汚染物質の排出量を測定し環境問題の解決に貢献

研究テーマは、バイオマス燃焼におけるOVOCs(含酸素揮発性有機化合物)の排出係数の測定です。OVOCsは、ホルムアルデヒド、グリオキサール、メチルグリオキサールといった有害物質の総称です。野焼きなどのバイオマス燃焼による汚染物質の排出は、日本の都市部では見

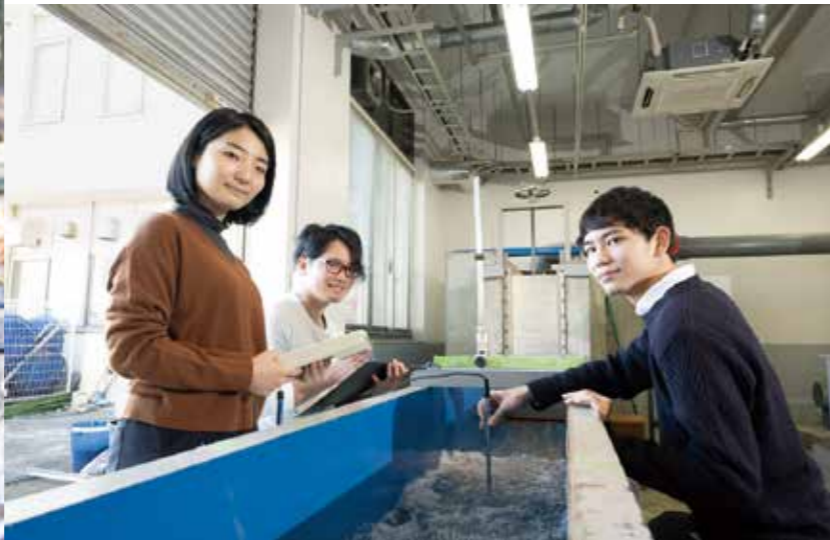
かけないもの世界的には問題視されています。それにもかかわらず、どこからどれくらいのOVOCsが排出されているかを示すデータが不足しています。バイオマス燃焼と大気汚染の関連性を明らかにして、環境問題の解決に少しでも貢献できればと思っています。

ECOREGION SCIENCE  
地域生態システム学科

森林、農村、都市などを含む空間をひとつの「地域」として捉え、そこに広がる生態系や生産・社会に着目した新しい研究を展開。自然環境と人間社会の生産活動が共存する地域環境空間の設計に挑戦します。



生態系と資源の保全のために  
地球規模で考え、地域で行動する



本学科が目指すもの

生態系と資源の保全・管理・活用などさまざまな問題を解決する社会の在り方を考え、野生動物や自然植生、森林・緑地・農地、農林業や農山村文化の新しい役割、人間と自然の調和を地域から地球的スケールで考えることを目的としています。広い視野で、実際のフィールドに立って問題を研究し、ボトムアップ型の思考でその解決を図ることのできる人材の育成を目指します。

カリキュラム

自然・応用科学から人文・社会科学にわたるさまざまな科目群をパッケージとして提示しています。そのパッケージの積み上げによって専門性を深めたうえで、学生一人ひとりの個性に合わせた教育を行い、さらに多彩な実習による実践的学習も可能にしています。

学年	専門科目			
	学科共通科目	パッケージ科目・推奨科目	実験・実習科目	
4 年次	地域生態システム学特別演習II 地域生態システム学特別演習III インターンシップ 卒業論文	持続的森林管理論 作物栽培学		
3 年次	地域生態システム学セミナー 地域生態システム学特別演習I インターンシップ	比較心理学 農村社会学 健康アメニティ論 インタープリテーション技術 造園学 動物環境生理学 リモートセンシング論 森林施設工学 砂防工学 森林立地学 農地環境工学 環境地盤工学 生物生産環境学 農用原動機学 熱工学 力学II 農業情報気象学 環境教育学	環境倫理学 比較行動学 国際協力論 農業市場学 景観生態学 自然誌学 森林施業論 森林政策学 木質資源利用学 ライフサイクルアセスメント 環境アセスメント学 農産プロセス工学 灌漑排水工学 生態水理学 共生社会思想 国際農林開発論 森林保護学	育林学実習 山地保全・砂防計画学実習 樹木学実習 農業環境工学実験 農業環境工学実習 農村地域計画学演習 野生動物保全学実習 比較行動学実験・実習 森林保護・樹木医学実習 森林土壌学実験・実習 森林生産システム学実習 農業環境工学演習 CAD設計演習
2 年次	地域生態システム学III インターンシップ	測量学 植生管理学 森林生態学 水文学 環境土壌物理学 農業経済学 空間情報学 土壌生態管理学 森林計画学 山地保全学 森林生産システム学 GISの基礎と演習 樹木学 力学I 土質力学	水理学 農村地域計画学 農業技術論 応用解析・情報学 環境哲学 環境文化史 環境公法 環境経済学 農業経営学 動物生態学 共生福祉論 野生生物保全技術論 野生動物保全学 環境生理生態学 バイオマス利用論	基礎測量学実習 地域社会システム調査実習 森林計画学実習 空間情報学実習 山地測量学実習 植生管理学実習 自然体験活動実習 学部共通専門科目
1 年次	地域生態システム学I 地域生態システム学II 地域生態システム学実習I 地域生態システム学実習II フィールド安全管理学 情報処理学	生物多様性保全学 水資源管理論 地域社会システム計画論 人と動物の関係論 地域社会調査法 動物福祉論		

地域生態システム学科の学び

生態系保全学	景観生態学/野生動物保護管理学/植生管理学/健康アメニティ科学
森林科学	森林土壌学/森林生態学/森林生物保全学/森林水文学/森林環境工学/森林人間系科学/森林計画学/森林利用システム学/森林資源管理学/山地保全学
農業環境工学	生産環境システム学/生産環境制御学/地水環境工学/耕地栽培システム学/エネルギー利用学/農村地域計画学/農業情報工学/水資源計画学/地域空間情報学/水利用学/施設構造工学
共生持続社会	環境哲学/農村社会学/比較心理学/環境文化史/環境公法学/国際関係学/環境情報科学/環境教育学/共生福祉論

卒業後の主な進路

- 農林水産省
  - 国土交通省
  - 環境省
  - 林野庁
  - 東京都
  - 埼玉県
  - 千葉県
  - 国際農業者交流協会
  - 農業生産法人こと京都
  - エルゴテック
  - 独立行政法人都市再生機構
  - サンスイコンサルタント
  - メーブル
  - 東京ガス
  - ネットワンステムズ
  - エコラボ合同会社
  - エーコブ関東
  - 大和証券
  - アニコム損害保険
  - NTCコンサルタント
  - モノリス
  - 京葉興業 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
  - 京都大学大学院
  - 九州大学大学院
  - 首都大学東京大学院
  - 東京大学大学院
  - 名古屋大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- 東日本電信電話
- エスピー食品
- ヤマハ
- 日本製粉
- ヤンセンファーマ
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ
- 森林研究・整備機構
- 農業・食品産業技術総合研究機構
- 水資源機構
- 住友林業
- サカタのタネ
- 鹿島建設
- 清水建設
- 日建技術コンサルタント
- クボタ
- 日清食品
- 日本工営
- 横浜市役所（造園職） など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許（理科）
- 測量士補
- 測量士（要実務経験）
- ピオトップ管理士
- 自然再生士補
- 高等学校教諭1種免許（理科・農業）
- 森林情報士
- 自然体験活動リーダー
- 樹木医補
- 博物館学芸員 など

研究室 PICKUP



准教授 | 福田 信二  
FUKUDA, Shinji

持続可能な水資源管理および生態系と  
調和した生産環境づくりに貢献する

これからの農業は、生産性向上と環境との調和を両立させる必要があります。私たちは、農業＝水＝生態系の調和を目標に、農業水路や水利施設周辺の水域における魚類生態環境の高精度モデリングに取り組んでいます。学問領域としては「生態水理学」と「エコイン

フォーマティクス」を融合した研究です。前者は、自然環境の保全と人間の水利利用の調和を目的とした研究分野で、後者はAIなどを用いて多様なデータを解析しています。ベトナム国メコンデルタや石垣島など、国内外の河川や水路での現地調査も積極的に行っています。

学生の声



川嶋 里沙  
KAWASHIMA, Risa  
大学院農学部農学専攻  
食農情報工学コース修士課程2年  
東京都立川高等学校出身

河川の環境評価や流況解析を行い  
生態系保全や水災害対策に役立てる

水資源計画学研究室で、河川の環境評価、増水時の流況解析などの研究に取り組んでいます。実験では、測量による多摩川での現地調査をもとに平面二次元水理解析を行います。具体的には、現地調査で得られたデータから、解析ソフトウェアを用いて、洪水時の流れなど

を計算します。河道における物理環境の予測は、河川環境や生態系の保全だけでなく、水災害の対策にも役立つと考えています。研究を通して得た経験や知識を活かして、将来は人と自然が調和した河川整備に貢献できる技術者として活躍したいと思っています。

共同獣医学科  
COOPERATIVE DEPARTMENT OF VETERINARY MEDICINE

伴侶動物の健康と福祉の向上、野生動物の保護などを通じて、人間の健康や心の豊かさ、生活環境にも深く関わっています。共同獣医学科では、動物の疾病の治療や予防、その研究を通じて生命科学の進歩に貢献しています。

定員 35名 6年制



動物と人の未来のために  
高度獣医療技術を習得する



研究室 PICKUP



准教授 皆上大吾  
AZAKAMI, Daigo

犬・猫の悪性腫瘍に関する臨床データを  
新たな検査法・治療法の確立に役立てる

犬と猫の悪性腫瘍(がん)は長寿化に伴い人間と同じように死因のトップを占めています。当研究室では、犬や猫の「がん」に関する臨床的・基礎的研究を行っています。農学部附属動物医療センターで得られた臨床データを分析するとともに、がん細胞を試

験管内で詳細に調べるにより、新たな検査法や治療法の開発を目指します。すでに我々が発見した「がん細胞株」は、世界における動物のがん研究に活用されています。研究成果を世界中の臨床現場にフィードバックすることを最終目標としています。

本学科が目指すもの

岩手大学と緊密な教育連携を行い、平成24年度から東日本の獣医学拠点として共同獣医学科に改組しました。現在、東京農工大学には「動物医療センター」と「国際家畜感染症防疫研究教育センター」、岩手大学には「動物病院」と「動物医学食品安全教育研究センター」があります。家畜衛生や公衆衛生分野における獣医師養成と、高度獣医療技術の習得を目指しています。

カリキュラム

ベースとなる動物の疾病の診断・治療と予防を学び、関連領域の知識や技術を習得。その後、学年が進むにつれて臨床・応用科目へと進んでいきます。5年次からは、少人数制の研究室に所属し卒業論文制作と、獣医師国家試験合格を目指します。

学年	専門教育科目			
	基盤獣医学科目	実証獣医学科目	選択科目	専修科目
6年次			インターンシップ 海外実習	卒業研究
5年次	内分泌学・皮膚病学 代謝病・中毒学 血液免疫病学 神経病・運動器病学 泌尿器病・生殖器病学 臨床薬理学 臨床腫瘍学 臨床栄養学 画像診断学 画像診断実習	眼科学 総合参加型臨床実習I 総合参加型臨床実習II 総合参加型臨床実習III 総合参加型臨床実習IV 大動物臨床実習・基礎編 大動物臨床実習・応用編 総合参加型臨床実習V 総合参加型臨床実習VI 公衆衛生実践実習	インターンシップ 海外実習	卒業研究
4年次	獣医事法規 動物感染症学 家禽病学 魚病学 動物病理学各論B(他臓器・組織) 病理学実習II 毒性学 毒性学実習 食品衛生学 食品衛生学実習 公衆衛生実践実習	呼吸器病・循環器病学 消化器病学 麻酔学・手術学 軟部外科学 小動物内科学実習・基礎編 小動物内科学実習・応用編 小動物外科学実習・基礎編 小動物外科学実習・応用編 動物行動治療学 繁殖機能制御学 臨床繁殖学 繁殖機能制御学実習 臨床繁殖学実習 産業動物臨床学I 産業動物臨床学II 馬臨床学	食品安全管理 動物病院経営学 インターンシップ 海外実習	獣医学演習
3年次	内分泌学 獣医代謝化学 生化学実習 基盤薬理学 統合薬理学 薬理学実習 病原微生物学 微生物学実習II 免疫学 原虫・原虫病学 蠕虫・蠕虫病・衛生動物学 寄生虫学実習	動物病理学総論 動物病理学各論A(主要臓器) 病理学実習I 公衆衛生学総論 疫学 人獣共通感染症学 環境衛生学 公衆衛生学実習 動物衛生学 動物衛生学実習 野生動物学 公衆衛生実践実習	内科学総論 外科学総論 臨床病理学	インターンシップ 海外実習 動物品種論 国際感染症制御学
2年次	運動器・神経系解剖学 内臓・脈管系解剖学 解剖学実習 組織学 組織学実習 統合生理学 器官制御生理学 生理学実習	獣医遺伝育種学 動物行動学 実験動物学 実験動物学実習 基礎放射線学 獣医基礎生化学 微生物学総論 微生物学実習I	人と動物関係学 動物園動物学	
1年次	獣医学概論 獣医倫理 発生学			

共同獣医学科の学び

基礎獣医学	獣医解剖学/獣医生理学/動物行動学/獣医薬理学
病態獣医学	獣医病理学/獣医微生物学/獣医伝染病学
応用獣医学	獣医毒性学/獣医衛生学/獣医公衆衛生学
臨床獣医学	獣医内科学/獣医分子病態治療学/獣医外科学/獣医画像診断学/獣医臨床繁殖学/獣医臨床腫瘍学/比較動物医学

卒業後の主な進路

- 厚生労働省
  - 農林水産省
  - 埼玉県
  - 茨城県
  - 横浜市
  - 特別区競馬組合
  - 警察庁科学警察研究所
  - 大原薬品工業
  - 大正製薬
  - 興和
  - 生化学工業
  - 科研製薬
  - アステラス製薬
  - 北海道中央農業共済組合
  - 千葉県農業共済組合
  - 東レ
  - オリックス
  - ヤクルト本社
  - アニコム損害保険
  - 日本中央競馬会
  - 阪大微生物病研究会
  - 日本生物科学研究所 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
  - 東北大学大学院
  - 大阪大学微生物病研究所 など

取得できる免許・資格

- 獣医師国家試験受験資格
- 食品衛生監視員(任用資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)
- 飼料製造管理者(任用資格) など

学生の声



五明彩葉  
GOMYO, Ayano  
農学部共同獣医学科6年  
私立長野日本大学高等学校出身

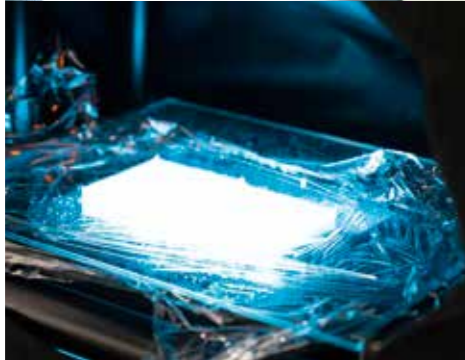
犬猫の治療から大型の家畜の健康管理、  
寄生虫・ウイルスの研究まで幅広く学べる!

獣医師は、犬猫はもちろん、牛や馬など家畜の健康管理や公衆衛生の分野でも活躍できるため、将来の活躍の場が広いのが魅力です。個人的には、寄生虫、ウイルスなど感染症の分野にも興味があり、共同獣医学科に進学しました。授業で印象に残っているのは、寄

生虫学実習です。市場で売られている魚を解体したとき、臓器からアニサキスなどの寄生虫を発見し、獣医師による啓発活動の大切さを痛感しました。獣医師、公務員などさまざまな将来像を検討しながら、さらに幅広い知識を身につけたいと思います。



## 健康社会に貢献する 先端生命工学研究に挑む



科学、生命科学、工学などの分野が融合した世界最先端の生命科学研究を行っています。日本の大学で初めて設置された生命工学科であり、生命現象の仕組みを理解し、それを応用して暮らしに役立つものを生み出すことを追究し続けています。

### 研究室 PICKUP



准教授 | 篠原 恭介  
SHINOHARA, Kyosuke

### 生物の健康を支える「繊毛」の機能を解明し、 気管支炎や不妊の治療法の開発に貢献する

「繊毛」という、生物の細胞の表面にある細かい毛に着目した研究をしています。繊毛は体内で水の流れを起こす役割を担っており、人間の健康を維持するうえで非常に重要なもの。機能不全に陥ると、気管支炎や不妊といった症状につながります。私の研究室ではマウスを

使用し、繊毛を構成するタンパク質、さらに遺伝子の機能まで綿密に調べています。繊毛の機能不全が引き起こす病気は、根本的な治療法がまだ見つかっていません。この研究を通じて、新しい治療法の開発に貢献したいと考えています。

### 学生の声



黒川 丹那  
KUROKAWA, Niina  
大学院工学府 生命工学専攻 博士前期課程2年  
私立横浜華人高等学校出身

### ヒトの神経疾患にも関与する タンパク質の構造変化の仕組みを解析

研究テーマは「CHO細胞由来HspB1の構造変化機構の解析」です。HspB1とは、体内に存在するタンパク質の立体構造を決定したりするタンパク質ですが、その異常がアルツハイマー型認知症などの神経疾患を引き起こすことが知られています。しかし、HspB1がタンパ

ク質の構造を変化させる仕組みについては不明な点も多いため、変異体の観察などを通じて、構造変化機構の解析を行っています。研究のモチベーションは、人の役に立てること。医療だけでなく、食品やサプリメントといった分野の発展にも貢献したいと思っています。

## 本学科が目指すもの

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

## カリキュラム

1・2年次は専門基礎科目で生命現象の基礎知識を習得します。2年次後期からは専門科目で高度かつ最新の知識を提供。また2・3年次を通して実験・実習が組まれています。3年次後期から研究室に所属され、卒業論文のテーマを設定し、最先端の研究を行います。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎生体機能工学演習I・II ◎応用生物学実験I・II ◎応用生物学演習I・II ◎卒業論文 ◎生体機能工学実験I・II
3年次	◎ライフサイエンス基礎演習II	◎生命工学の最先端 I・II・III・IV ◎食品・医薬品開発工学 ◎生命科学英語II ◎医療・組織工学 ◎生命技術英語I・II ◎レギュラトリーサイエンス ◎免疫学・抗体工学 ◎応用生体電子工学・応用微生物学 ◎生理医学 ◎応用ゲノミクス ◎細胞再生工学・細胞医学 ◎生命工学実験III・IV ◎ナノバイオエンジニアリング ◎生命工学研究概論 ◎脳神経学 ◎研究室体験配属 ◎ケミカルバイオロジー
2年次	○バイオコンピューティング・ バイオインフォマティクス基礎 ○バイオ統計学・ アドバンスドバイオインフォマティクス ○物理学III ○生物物理化学I・II ○生命有機化学II ○生命分析化学 ○生命無機化学 ○機器分析学 ○生命化学II ○分子生物学II ○細胞生物学I・II ◎生命倫理・安全管理 ◎ライフサイエンス基礎演習I	◎生命科学英語I ○蛋白質科学 ○植物工学・蛋白質工学 ○先端機器分析学 ○環境/バイオテクノロジー・分子細胞工学 ○バイオセンシング ○メディスナルケミストリー ○マリンバイオテクノロジー ◎生命工学実験I・II
1年次	○統計学 ◎生命工学入門・ ◎化学基礎 医工学入門 ◎物理学基礎 ○生命有機化学I ○物理学I・II ○生命化学I ◎生物学基礎 ○分子生物学I ◎基礎生物化学 (工学部共通) ◎微生物学 線形代数学I ◎基礎生物学実験 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験	

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

## 生命工学科の学び

生体機能工学	細胞機能工学/生命分子情報科学/ 生体分子構造学/細胞分子工学/植 物情報工学/バイオビジネス/ナノ生命 工学
応用生物学	生命分子工学/海洋生命工学/生体 電子工学/分子生命化学/生命有機 化学/生命環境工学

## 卒業後の主な進路

- 第一三共
- 田辺三菱製薬
- 興和
- 東和薬品
- 積水メディカル
- ニプロ
- テルモ
- ユニ・チャーム
- 日本たばこ産業
- 日清オイログループ
- 雪印メグミルク
- キュービー
- 理研ビタミン
- ヤクルト本社
- 丸大食品
- エステー
- 日本曹達
- 東洋インキSCホールディングス
- NTTデータ
- 東芝
- シャープ
- プリチソン
- オリパス
- ライオン など

### 進学

- 東京農工大学大学院
- 東京医科歯科大学大学院
- 東京大学大学院 など

## 取得できる免許・資格

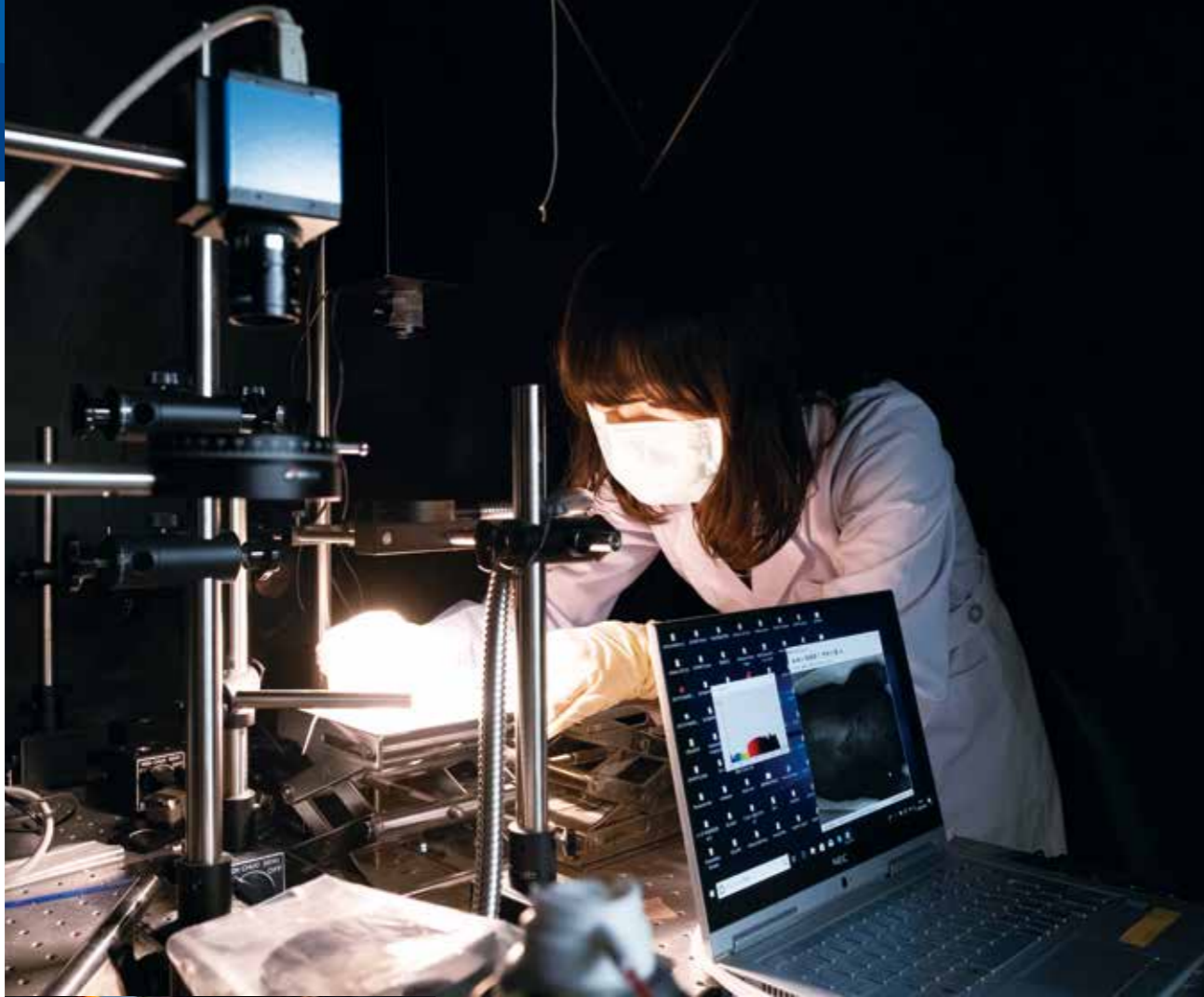
- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

BIOMEDICAL ENGINEERING  
生体医用システム工学科

現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに、革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。

定員

56名



物理学+電子情報工学を学び、  
未来の医療技術を創る



研究室 PICKUP



准教授 | 西館 泉  
NISHIDATE, Izumi

「光」を用いて生体情報を計測し、  
身体に負担のない診断・治療技術を実現

「光」を使用し、人間の身体に負担をかけない診断・治療技術を研究しています。例えば、病気を診断するためには「採血」や「生検」という侵襲的な手法が一般的に用いられますが、私たちの研究室では、身体に光を当て、反射してきた光の波長特性を分析することで、様々な生

体情報を推測し、病気の診断に役立てようとしています。また、この「光」の技術を応用すれば、手術の際に、臓器の血流、組織への酸素供給や細胞の活性状態を非接触で調べることができます。医療の発展に技術面から貢献したいと考えている人にぴったりの研究テーマです。

本学科が目指すもの

さまざまな生体機能を細胞、遺伝子、分子・原子レベルで理解し、医用に資する革新的な計測・分析技術の創成を行います。さらに、医療現場における医療診断のニーズを踏まえた工学のシーズ応用を目指す教育研究を通して、国際社会をリードする研究者・技術者の養成を目指します。

カリキュラム

低学年次では、数学、物理学、生物学等に加え、医療機器や計測・診断技術のしくみにかかわる専門基礎科目について学びます。高学年次には、医療応用にかかわる医用フォトニクス、医用超音波工学、医用デバイス工学、医用メカトロニクス等について学びます。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4 年次		◎生体医用システム工学特別演習I・II ◎生体医用システム工学特別実験I・II ◎卒業論文
3 年次		○病理学・薬理学 ◎生体医用工学II ◎生命倫理 ○化学物理 ○固体物理 ○光エレクトロニクス ○量子技術概論 ○医用超音波工学 ○医用メカトロニクス ○放射線化学 ○生体機能工学
2 年次	数理統計学 ◎電磁気学応用 連続体物理 熱統計力学 量子力学 波動物理 ◎プログラミングIIおよび演習	◎電気回路 電子回路 生物学 ◎生体医用工学I
1 年次	◎工学基礎数学 工学応用数学 化学基礎 ◎生物学入門 ◎力学 ◎電磁気学概論 ◎プログラミングIおよび演習 ◎臨床医学概論 生理学	(工学部共通) 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

生体医用システム  
工学科の学び

生体情報計測システム/生体医用フォトニクス/生体医用光学/半導体量子科学/生物物理学/光エレクトロニクス

卒業後の主な進路

- GEヘルスケア・ジャパン
- キヤノン
- 日立製作所
- ニデック
- 花王
- エプソン
- 島津製作所
- 横河電機
- パイオニア
- 本田技研工業
- ヤマハ発動機
- 日本電気
- アンリツ
- 三菱電機
- 住友電気工業
- 東京ガス
- 清水建設
- 大成建設
- 中国電力
- 日本音響エンジニアリング
- オリパス
- ソニー
- コニカミノルタ
- トプコン
- シスメックス
- パナソニック
- 東京エレクトロン
- 横河計測
- トヨタ自動車
- 日産自動車
- 富士通
- NTTデータ
- ダイキン工業
- 村田製作所
- 官公庁 など

進学  
● 東京農工大学大学院  
● 他大学大学院 など

取得できる免許・資格

- ☑ 博物館学芸員

学生の声



秦 東益  
QIN, Dongyi

大学院工学府 電子情報工学専攻  
博士後期課程1年  
東京都立小金井北高等学校出身

応用が期待される「超伝導物質」の  
さらなる可能性を突き詰めたい!

「超伝導物質」の研究に取り組んでいます。超伝導とは、物質を極めて低い温度に下げたときに、電気抵抗がゼロになる現象のこと。この性質を利用して、無損失送電や超強力磁石の開発などが期待されています。なかでも最も実用化が期待されている特定の超伝導物質(※)において、

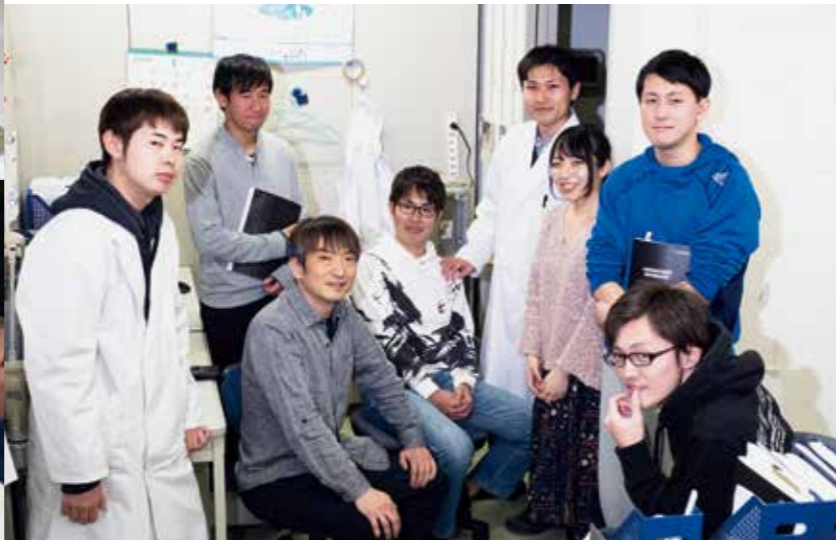
世界で初めて100ナノメートル程度の薄膜を作製することに成功しました。これを用いて超伝導物質のさまざまな物質特性を明らかにし、さらなる可能性を突き詰めたいと思っています。超伝導物質が持続可能なエネルギー社会に役立つよう、研究を続けていきます。

※Ba<sub>0.8</sub>K<sub>0.2</sub>Fe<sub>2</sub>As<sub>2</sub>

APPLIED CHEMISTRY  
応用化学科



物質の構造や機能を理解し、  
新しい物質・材料の創出へ



化学は物質の構造や機能を理解し、新しい物質を創り出す分野です。本学科では原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを対象とし、様々な分野において活躍できる独創性や応用力を身に付けた人材を育成します。

定員

81名

研究室 PICKUP



教授 | 村上義彦  
MURAKAMI, Yoshihiko

化学のチカラで医療に貢献!  
バイオマテリアル(医療用の材料)を開発しよう

私の研究室では、薬を放出するゼリー(ゲル)や、薬を体内に運ぶための入れ物(粒子)など、未来の医療に貢献するバイオマテリアル(医療用の材料)を開発しています。例えば、高分子化学のアプローチから「世界で一番軽い粒子」を作製して、肺へ薬を運ぶための入れ

物としての実用化を検討しています。医者は限られた数の患者しか向き合えませんが、バイオマテリアルは数え切れないほど多くの患者に役立ちます。化学や材料開発ならではの魅力に興味を持った人にぜひ入学してほしいです。

学生の声



小林伊織  
KOBAYASHI, Iori  
大学院工学部 応用化学専攻  
博士前期課程2年  
駿台甲府高等学校出身

化学を幅広く学び納得のいく研究室を選択。  
海外の研究者との共同研究にも挑戦したい!

漠然と「化学がいいな」と思っていた高校時代の私にとって、化学の分野を幅広く学べる応用化学科のカリキュラムは理想的でした。入学後、さまざまな授業を受け、納得のいく研究室選択ができ、自分の判断は間違っていなかったと確信しています。現在は、光の誘起効果を中心に

電子の動きによる現象について研究しています。さまざまな分析機器を使う最先端の研究です。東京農工大学は、海外との研究交流にも力を入れており、留学して「英語で専門分野を学ぶ」という夢も実現できました。海外の企業と共同研究に携われるような技術者になるのが目標です!

本学科が目指すもの

原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを、講義、実験、研究の対象としています。有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学等の基礎科目から、半導体化学、エネルギー化学、触媒化学、バイオ材料化学、高分子物性等の応用科目まで習得します。このように化学や材料科学の基礎から応用まで学ぶことによって、多様な化学・材料科学の領域や、化学と環境・食品・医薬等との境界・融合領域において活躍できる研究開発力が身につきます。

カリキュラム

化学に関する幅広い科目を無理なく着実に学習できるカリキュラムが用意されています。1~3年次の各学年には実験科目がバランス良く配置されており、卒業研究は研究室において化学の最先端領域の研究指導を受けられる体制が整えられています。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎卒業論文 ◎応用化学セミナーI ◎応用化学セミナーII
3年次	統計力学 構造化学 分子分光学 量子化学計算概論 エネルギー化学 化学工学 高分子物性I 高分子物性II 物性化学 セラミック化学 半導体化学	機器分析II 有機化学V 有機工業化学 有機金属化学 高分子化学II 生体材料化学II ◎論文・文献講読 ◎応用化学実験III ◎応用化学特別実験 ◎研究室体験配属
2年次	物理化学II 反応速度論 量子化学I ◎物理化学演習 無機化学II 無機化学III ◎無機化学演習 有機化学III 化学結合論 ◎有機化学演習 材料電磁気学 光学基礎 生体材料化学I 環境物質化学概論	量子化学II 機器分析I 有機化学IV 高分子化学I ◎応用化学実験I ◎応用化学実験II
1年次	◎応用化学入門 ◎物理化学I ◎無機化学I 分析化学 ◎有機化学I 有機化学II 力学概論 振動・波動の物理 ◎科学基礎実験	〈工学部共通〉 線形代数学I 微積分学および演習I 線形代数学II 微積分学および演習II 地学 地学実験
		化学英語

◎印の科目は必修

応用化学科の学び

応用化学

分子変換化学/光電子材料化学/分子設計化学/無機固体化学/電子エネルギー化学/分子触媒化学/有機・高分子物理化学/有機・高分子素材化学/有機・高分子物性化学/バイオ高分子材料/超分子・分子集積構造材料

卒業後の主な進路

- アステラス製薬
  - クラレ
  - クレハ
  - コニシ
  - 住友化学
  - 積水化学工業
  - 東ソー
  - 豊田合成
  - 日産化学
  - 三井化学
  - 三菱ガス化学
  - 三菱ケミカル
  - JXTGエネルギー
  - JSR
  - プリアストン
  - 横浜ゴム
  - 富士紡ホールディングス
  - 日本製紙
  - 日本軽金属
  - 三菱マテリアル
  - 日野自動車
  - 本田技研工業
  - GSユアサ
  - デンソー
  - 日本精工
  - キヤノン
  - パナソニック
  - 富士電機
  - リコー
  - 凸版印刷
  - ぺんてる
  - キュービー
  - 雪印メグミルク
  - 東洋製罐
  - 日本ゼオン など
- 進学  
● 東京農工大学大学院 など

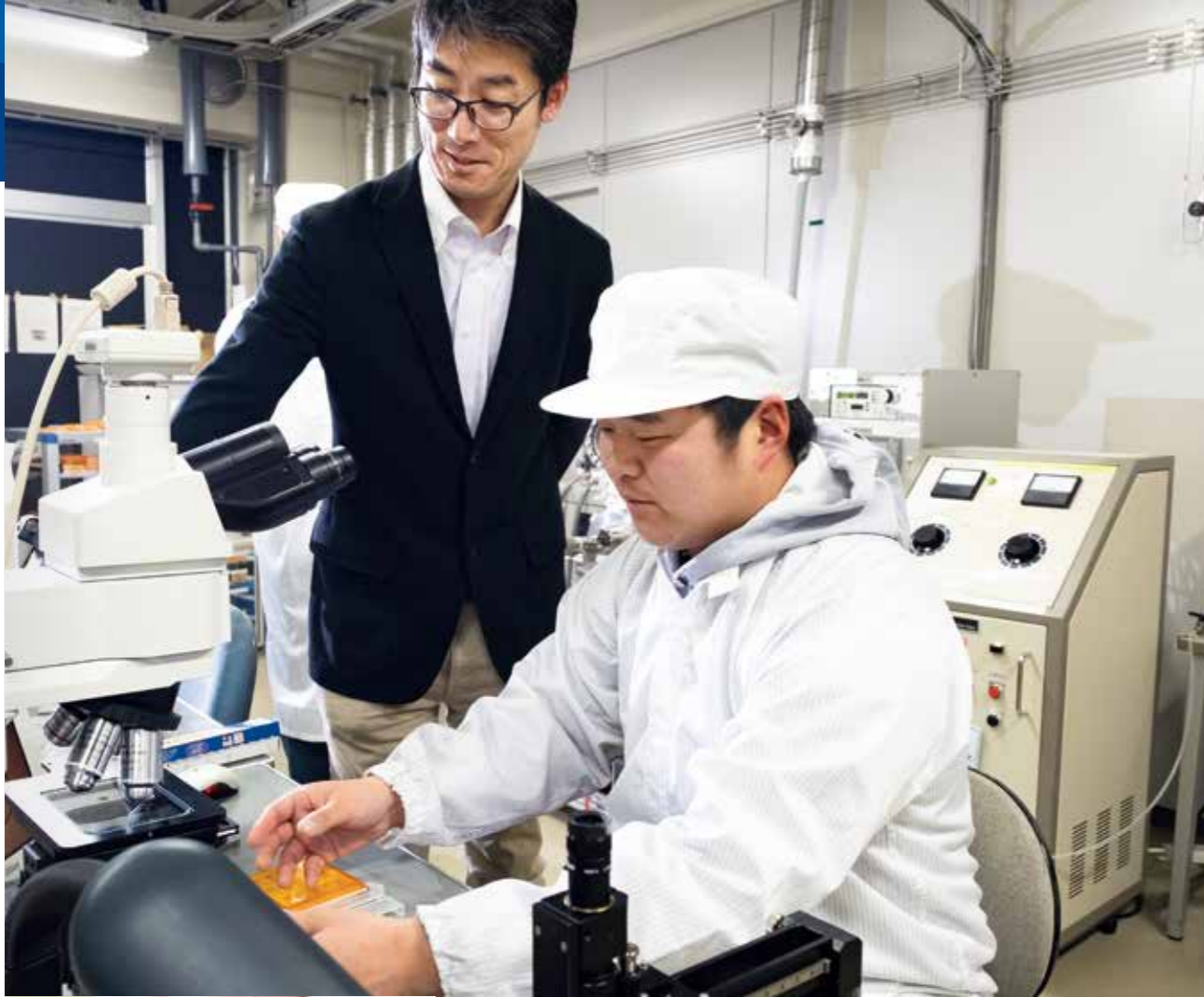
取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

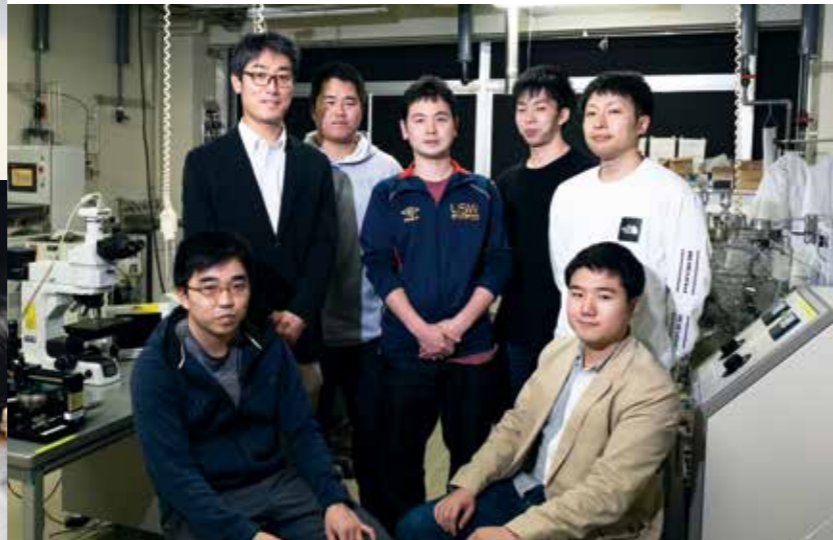
LABORATORY PICKUP

STUDENT VOICE





化学と物理の知識をベースに  
持続可能な社会を実現する



化学工学、物理工学、電気電子工学、機械工学など幅広い分野の専門家により、エネルギー、新素材から環境までを習得できるカリキュラムを整備。地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を備えた技術者を育成します。

研究室 PICKUP



教授 | 清水大雅  
SHIMIZU, Hiromasa

化学と物理学の高度な知識を融合した  
光信号処理技術で新産業を創出する

光は電磁波の一種で、大容量の情報を送受信できる性質があります。半導体・ガラス・金属の中の光を利用した新しい光情報信号処理回路、および超高感度バイオセンサ・ガスセンサへの応用を目指しています。大気中の気体の濃度や、呼気に含まれる成分のわずかな

変化を測定することができる高感度センサは、外力や環境の変化に対して強さが変化する光の特性を活かしたものです。癌の早期発見や食品の衛生管理などに応用できる可能性もあり、社会を変革する新産業を生み出すのが研究室の目標です。

本学科が目指すもの

エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。化学・物理の総合理解という社会からの要請が強く反映された、他大学には存在しないオンリーワンの学科で学びましょう。

カリキュラム

数学、化学、物理などの基礎科目および、化学工学と物理工学をバランス良く履修するカリキュラムです。専門科目ではエネルギー、新素材、環境の3つのキーワードを重視し、科目群を用意しています。研究室所属により実践的な課題解決力を身につけます。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		プロセスデザイン工学 ◎卒業論文
3年次	○熱統計力学および演習 科学技術英語 画像情報工学	○エネルギープロセス工学 エネルギー変換工学 エネルギーシステム工学 ○環境工学 バイオプロセス工学 環境計測工学 ○電気電子材料工学 光エレクトロニクス 高分子工学
2年次	微分方程式I 微分方程式II ベクトル解析 数理統計学 生物化学 分析・機器分析化学	有機化学 ○移動現象論および演習 ○工業熱力学 ○エレクトロニクス基礎 ○電磁気学および演習 ○量子力学および演習 ○システム工学基礎
1年次	◎物理学基礎I ◎物理学基礎II ◎化学基礎 ◎化学物理基礎 ◎生物学基礎 ◎化学物理数学 ◎化学物理工学概論 ◎化学物理工学基礎 プロジェクト演習	○情報プログラミング ○無機化学基礎 ○有機化学基礎 ○ケミカルエンジニアリング基礎 〈工学部共通〉 線形代数I 微分積分学および演習I 線形代数II 微分積分学および演習II 地学 地学実験
		プロセス制御工学 ◎先端化学物理工学概論 ◎化学物理工学先端プロジェクト演習 ◎化学物理工学実験I・II 反応速度論 拡散分離工学 粉粒体プロセス工学 電磁波工学 電気回路理論 電子デバイス工学
		電子物性工学 エンジニアリング製図演習 科学技術者倫理 インターシップ 反応工学 ◎化学工学実験 ナノ量子材料工学 ◎物理工学実験 ◎研究室体験配属

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

化学物理工学科の学び

化学工学/応用物理学/化学エネルギー工学/環境バイオエンジニアリング/反応工学/分離工学/物性工学/異相界面工学/プロセスシステム工学/量子機能工学/基礎電子工学/量子機能集積工学/量子過程工学/量子光学工学/エネルギーシステム工学

卒業後の主な進路

- 三菱ケミカル
- 富士フイルム
- 日産自動車
- 花王
- 出光興産
- キャノン
- キューピー
- 千代田化工建設
- 住友化学工業
- 東ソー
- プリマストン
- コカミノルタ
- AGC
- TDK
- 日揮
- 三菱ケミカル
- NOK
- 高砂熱学工業
- 東洋インキ
- 日本化薬
- ユニチカ
- 三菱化工機
- 荏原製作所
- 大気社
- 凸版印刷
- クレハ
- 王子製紙
- オルガノ
- 富士ゼロックス
- 日立製作所
- 日本電気
- 島津製作所
- 横河電機
- トヨタ自動車
- パナソニック など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

学生の声



小倉嵩寛  
OGURA, Takahiro

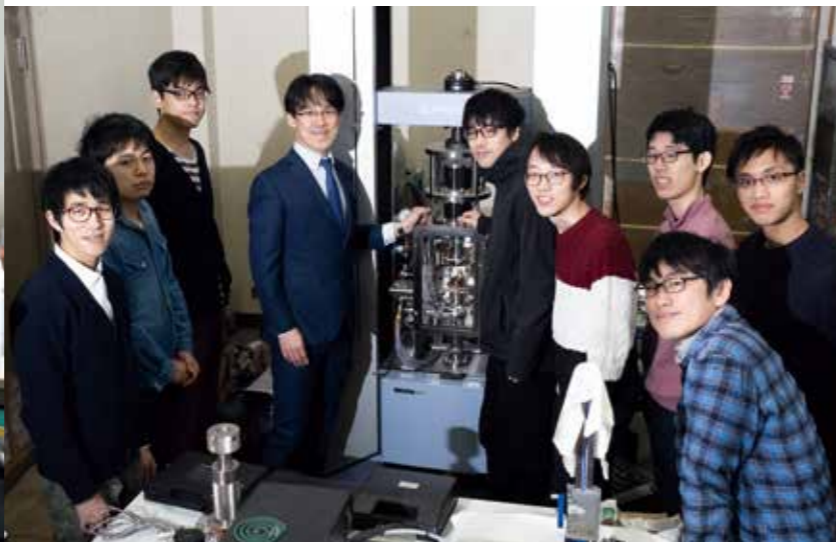
大学院工学府 電気電子工学専攻  
博士前期課程  
私立法政大学第二高等学校出身

光の屈折率で特定のガスを検知する  
次世代のガスセンサを開発する!

現在、取り組んでいる研究テーマは、金属表面の自由電子と光が結合する「表面プラズモン共鳴」という現象を応用した次世代のガスセンサの開発です。仕組みとしては、光の屈折率によって、この現象の共鳴条件が変化することを利用して、ガスを検知させます。実験

では、さまざまな種類・厚さの金属を組み合わせて、ガスを吸着する化学物質を塗布したりしてセンサの高感度化、特定の物質を検出する能力の向上を目指しています。特定の「においセンサ」など、新たなデバイス開発にも挑戦したいですね。

MECHANICAL SYSTEMS ENGINEERING  
機械システム工学科



ハードとソフトを融合し  
人類の未来を拓く技術を実現する

最先端の工作機械を用いた実験や実習を行い、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い分野を研究対象としています。これらの研究を通して、環境と調和した、時代を超える次世代のハイパーマシンを創造します。

定員

102名

研究室 PICKUP



教授 | 山中晃徳  
YAMATAKA, Akinori

数値シミュレーションを用いて  
金属材料のミクロな構造を明らかにする

「材料」の力学的特性を向上させ、薄くて強い金属を実現するための基礎研究に取り組んでいます。具体的には、「フェーズフィールド法」「均質化有限要素法」と呼ばれる数学的手法を用いて、材料内部の構造がいかに形成され、力学的特性とどのような関係性を持

つのかを予測。材料内部の現象を数式で表し、それを計算するためのプログラムを作成しています。今までにない材料設計法を実現し、次世代の社会が求める軽量かつ高強度な金属材料の技術開発につなげたいと考えています。

本学科が目指すもの

スマートモビリティ、デジタルものづくり、ロボティクス・ナノメカニクスという3つの軸を中心に幅広い機械系専門分野のダイバーシティをカバーする学科です。基礎となる力学、制御、数値解析、プログラミング、材料、設計、加工、精密計測、電子工学などを体系的に学び、「航空宇宙・機械科学」「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースで、機械エンジニアとしての根幹を深く太くし、スペシャリティの枝葉を伸ばし広げることができます。

カリキュラム

機械力学、熱工学、流体力学、材料工学などの機械製作に欠かせない知識と技術を身につけ、幅広く基礎を習得。2年次後学期から「航空宇宙・機械科学」と「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースに分かれ、興味のある科目を重点的に学ぶことができます。

	専門科目		
	自然科学基礎科目 (数学)(科学)	専門基礎科目	専門科目 航空宇宙・機械科学コース ロボティクス・知能機械デザインコース
4年次		科学技術英語	◎卒業論文
3年次	数理統計学 統計力学系解析 量子力学概論	工学倫理	塑性力学 伝熱学II 構造材料評価法 トライボロジ 数値流体力学および演習 機械材料工学II エネルギーシステム工学 エネルギー変換工学 宇宙推進工学 航空宇宙流体力学 有限要素法および演習 ガスタービン
			機械設計II 生産加工学II 計測・信号処理工学 ロボット工学 MEMS 車両工学 人体運動学 生産システム工学 人間科学計測法 振動制御および演習 メカトロニクスおよび演習
2年次	微分方程式II ベクトル解析 関数論 電磁気学 化学基礎 生物学基礎 連続体力学	流体力学I 機械材料工学I 制御工学I 機械設計I 伝熱学I 生産加工I	弾性力学 機械電子工学II 光工学 ※2年次後学期から2コース制に移行
			◎材料工学II ◎熱工学II ◎機械力学II ◎制御工学II ◎機械システム設計製図
1年次	微分方程式I 力学I 力学II	◎基礎ゼミ 機械システムデザイン 材料力学I 熱工学I 機械力学I 機械電子工学I (工学部共通) 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験	◎機械製図法 ◎機械システム特別研究I
			◎コンピュータプログラミングI ◎コンピュータプログラミングII ◎機械システム工学実験I ◎機械システム工学実験II

◎印の科目は必修科目、○印の科目は両コース共通専門科目

機械システム工学科の学び

エネルギーシステム解析/流体力学/機械材料学/材料力学/弾塑性解析/機械要素解析/機械システム設計/熱流体システム設計/車両システム工学/精密計測工学/制御システム/機械電子工学/生産システム工学/機械解析幾何学/機械解析代数学/メカフォトニクス/メカビジネス/宇宙工学

卒業後の主な進路

- IHI
  - JFEスチール
  - 日本電気
  - NTTデータ
  - いすゞ自動車
  - オークマ
  - オリオンパス
  - カシオ計算機
  - マレリ
  - カワダロボティクス
  - サーマス
  - シチズン時計
  - SUBARU
  - セイコーエプソン
  - ソニー
  - ダイハツ工業
  - テルモ
  - デンソー
  - パナソニック
  - ファナック
  - フジクラ
  - プラザー工業
  - プリチストン
  - マツダ
  - ミクニ
  - ヤフー
  - リコー
  - 安川電機
  - 伊藤忠テクノソリューションズ
  - 横河電機
  - 古河電気工業
  - 三菱重工業
  - 三菱電機
  - 鹿島建設
  - 住友電気工業
  - 小松製作所
  - 日本製鉄
  - 積水化学工業
  - 川崎重工業
  - 竹中工務店
  - 電源開発
  - 東京ガス
  - 東京電力ホールディングス
  - 日揮
  - 日産自動車
  - 日本コムビア
  - 日野自動車
  - 日立金属
  - 日立製作所
  - 富士通ゼネラル
  - 本田技研工業 など
- 進学  
● 東京農工大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

学生の声



上野安澄  
UENO, Azumi

大学院工学府 機械システム工学専攻  
博士後期課程3年  
東京都立日比谷高等学校出身

目指すのは、遠く離れた人と人が  
ロボットを介して触れ合える社会

人間の姿により近いロボットを開発するため、試行錯誤を重ねています。3Dスキャナーで人間の身体形状を記録し、ウレタン樹脂を肉質に使用して人間の骨格や動作も再現。どうしてもロボットが人間らしさを獲得できるのか、心理学や統計処理を用いた分析も行っていま

す。このロボットに触れることで、離れていても人と人がコミュニケーションできる社会をつくるのが目標。設計から研究開発まで一貫して取り組んでいるため時間はかかりますが、いつかロボットがもっと身近になる社会を実現させたいです。

ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE  
**知能情報システム工学科**

知能情報システム工学科では、コンピュータのしくみやプログラミングといった電気電子工学、情報工学の基礎を確実に身につけることができます。さらに最新のデータ処理技術、人工知能技術についても学ぶことができます。

定員

120名

研究室 PICKUP



准教授 | 渡辺 峻  
WATANABE, Shun

数学の理論を応用した暗号技術で  
 情報社会のセキュリティ技術を支える

私の研究室では、情報セキュリティ技術の基盤となる暗号理論の研究を行っています。例えば、オークションの入札額は、企業や個人の経済状況と直結する重大な機密情報になります。そのため、各自の入札額が漏れないように判定を行い、「一番高い入札者」だけがわかるシステムが必要となるのです。このように、「本当に重要なデータだけを出力する」ことを可能にするのが、私たちが研究している「秘密計算」の技術。数学の理論が情報社会で重要な役割を担っていることが実感できる学問です。

学生の声



石神 魁人  
ISHIGAMI, Kaito  
大学院工学府 電気電子工学専攻  
博士前期課程2年  
私立宝仙学園高等学校出身

LSI (大規模集積回路) の配線処理を研究中  
 回路から電子デバイスの可能性を広げたい!

研究対象は、LSI (大規模集積回路) です。LSI はパソコン、スマホ、家電製品など至るところで使われています。私は、このLSIのレイアウト設計におけるチャンネル配線手法を応用した配線アルゴリズムの研究をしています。小さなLSI に搭載される素子数は数億におよび、それらの素子を配線で接続するレイアウト設計はLSI 開発の重要な工程のひとつです。従来より高速に配線できる方法が開発できれば、電子デバイスの小型化、省電力化が実現できます。将来は電子機器の制御システムを開発する組み込みエンジニアになりたいです。



超スマート社会を支える  
 高度IT技術者・研究者を養成



本学科が目指すもの

知能情報システム工学科では、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代の情報社会を支える基盤となる電子情報システムの構築に必要な教育研究を行います。これにより、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度IT/イノベーション技術の創出および人材の養成を目指しています。

カリキュラム

知能情報システム工学科では基礎となるプログラミングや電気回路等の専門基礎科目に実験・演習を組み合わせることで「手を動かす教育」を行います。専門科目の履修には2つのコースを用意することで、幅広い知能情報システム工学分野の中でアイデンティティを確立します。

	専門科目			
	専門基礎科目		専門科目	
	数理情報工学	電子情報工学	数理情報工学	電子情報工学
4年次	○論文・文献講読 ◎卒業論文			
3年次	○オペレーティングシステム ○言語処理系 ○ソフトウェア工学 ○コンピュータグラフィックス ○情報セキュリティ ○計算機ネットワーク ○データベース ○関数プログラミング ○数値最適化 ○先端数理情報数学 ◎知能情報システム工学実験2A ◎研究室体験配属 ○先進知能情報システム工学演習II ○先進知能情報システム工学実験IV ○インターンシップ		○電子デバイスII ○デジタル電子回路 ○サステナブルエネルギー工学 ○メディア伝送工学 ○通信工学 ○量子力学概論 ○熱統計力学 ○パワーエレクトロニクス ○先端電子デバイス ○電磁波工学 ○先端電子情報数学 ◎知能情報システム工学実験2B ◎研究室体験配属 ◎先進知能情報システム工学演習II ○先進知能情報システム工学実験IV ○インターンシップ	
2年次	◎離散数学 ◎アルゴリズム序論 ◎アルゴリズム序論演習 ◎計算機アーキテクチャ ◎計算機アーキテクチャ演習	◎電磁気学I ◎電磁気学II ◎基礎電子回路 ◎電子デバイスI	○オブジェクト指向プログラミング ◎知能情報システム工学実験1A ○先進知能情報システム工学実験II ○先進知能情報システム工学実験III	○回路理論 ○電子物性工学 ○マイクロプロセッサ ◎知能情報システム工学実験1B ○先進知能情報システム工学実験II ○先進知能情報システム工学実験III
1年次	○地学実験 ◎数理統計学 ○関数論 ○代数学	○化学基礎 ○生物学基礎 ◎情報理論 ◎線形システム ◎情報化社会と職業 ◎社会言語情報論	○信号処理論 ◎基礎情報数学 ○アルゴリズム論	○先進知能情報システム工学実験I ○先進知能情報システム工学実験I
	◎線形代数学I ◎微分積分学Iおよび演習 ◎線形代数学II ◎微分積分学IIおよび演習 ○地学 ◎微分方程式 ○幾何学 ○物理学基礎 ○ベクトル解析 ◎知能情報システム工学概論	◎プログラミングI ○プログラミングI演習 ◎プログラミングII ○プログラミングII演習 ◎コンピュータ基礎 ◎基礎電気回路 ◎論理回路 ◎基礎回路演習 ◎先進知能情報システム工学演習I		

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

知能情報システム工学科の学び

数理情報工学	システムソフトウェア/ネットワーク/セキュリティ/パターン認識/人工知能/ロボティクス/コンピュータグラフィックス/VR/ヒューマンインタフェース/計算機アーキテクチャ/アルゴリズム
電子情報工学	計測・制御工学/信号処理/画像工学/通信工学/電子材料・物性工学/ナノデバイス/パワーエレクトロニクス/ワイヤレス通信/電磁気学/電子回路/電子デバイス

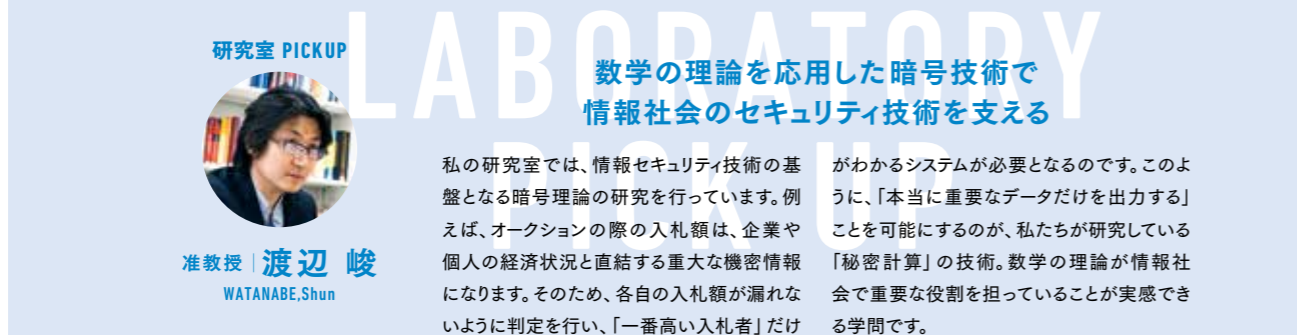
卒業後の主な進路

- 日本電信電話
- エヌ・ティ・ティ・データ
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
- 野村総合研究所
- KDDI
- 日本電気
- 日立製作所
- 富士通
- 三菱電機
- ソフトバンク
- TDK
- 東芝
- 古河電気工業
- カシオ計算機
- リコー
- ニコン
- キヤノン
- ソニー
- 横河電機
- 住友電気工業
- ヤマハ発動機
- みずほ情報総研
- みずほ銀行
- 三菱UFJ銀行
- 大日本印刷
- 凸版印刷
- 東日本旅客鉄道
- リクルートホールディングス
- 日本放送協会
- トヨタ自動車
- 本田技研工業
- いすゞ自動車
- 三菱自動車工業
- 日産自動車
- SUBARU
- 小松製作所
- 日立ソリューションズ・テクノロジー
- 日立国際電気
- ルネサス エレクトロニクス
- 電源開発
- 東京電力ホールディングス
- 東京エレクトロン
- 東京ガス
- 関電工
- ディー・エヌ・イー
- ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- 任天堂
- セガゲームス
- ヤフー
- スクウェア・エニックス・ホールディングス
- バンダイナムコオンライン
- SCSK
- サイバーエージェント
- 大学教員  
(大学院博士後期課程修了生)
- 国家公務員総合職 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(数学)
- 高等学校教諭1種免許(情報・数学)

LABORATORY PICKUP



STUDENT VOICE

# 大学院

GRADUATE SCHOOL

## 学府

工学府  
農学府  
生物システム応用科学府

## 研究科

連合農学研究科

## 研究院 (教員が所属)

農学研究院  
工学研究院

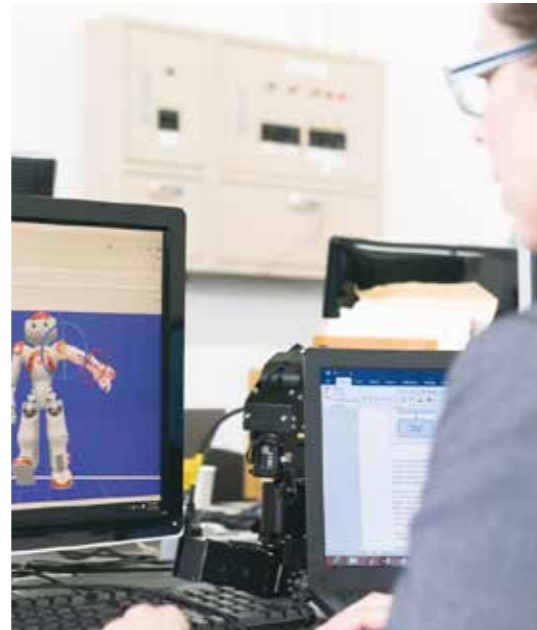
学部で身につけた知識や実験・実習のスキルを活かして、自ら研究課題を見つけ出し、解決方法を模索していくのが大学院の学び。研究課題に関するコミュニケーションや発表のスキルも磨くことができます。企業や行政機関の研究職を目指す場合、大学院の研究、ラボ活動の経験が、将来の選択肢を広げてくれます。また、大学で研究を続け、研究者・指導者を目指すこともできます。

# 工学府

博士前期課程・博士後期課程・  
専門職学位課程

2023年4月に、従来の博士前期課程6専攻、専門職学位課程1専攻、博士後期課程4専攻から、櫛型教育の完成を目指して、博士前期課程6専攻、専門職学位課程1専攻、博士後期課程6専攻へと改組予定(※)です。2019年4月には博士後期課程に東京外国語大学及び電気通信大学と連携した共同専攻「共同サステナビリティ研究専攻」を設置しました。工学府では、所属専攻で高度な専門性を身につけるとともに専攻横断型の学際科目も用意し、企業などとの共同研究を通して、他の専門分野の人とも協働できる人材を育成することを目標にしています。工学府は社会にも広く開かれた学びを展開しており、企業や研究機関に所属する研究者なども就業しながら博士後期課程を修了することができます。

博士前期課程
生命工学専攻 生体医用システム工学専攻 応用化学専攻 化学物理工学専攻 機械システム工学専攻 知能情報システム工学専攻
博士後期課程
生命工学専攻 生体医用システム工学専攻 応用化学専攻 化学物理工学専攻 機械システム工学専攻 知能情報システム工学専攻
博士課程(後期3年)
共同サステナビリティ研究専攻
専門職学位課程
産業技術専攻



工学府は、2023年4月改組予定で設置構想中のため、専攻の概要・カリキュラム等に変更することがあります。

# 農学府

修士課程

「農学」を基盤として地球規模の課題に挑める人材を育成するために、農学府(修士課程)は2019年4月、改組を行いました。旧来の9専攻のすべての分野を1専攻に集約し、専門分野間の学術交流を活性化します。また、海外の研究留学や提携大学とのダブルディグリープログラムも整備。グローバル社会のニーズに応えるスキルの養成にも注力します。

修士課程
農学専攻
● 生物生産科学コース ● 応用生命化学コース ● 自然環境資源コース ● 食農情報工学コース ● 地球社会学コース ● 国際イノベーション農学コース



共同獣医学専攻  
4年制博士課程

共同獣医学専攻の卒業生は、岩手大学と共同で設置している獣医学の大学院博士課程(修業年限4年)に進むことができます。動物基礎医学、獣医衛生科学、獣医臨床医学のうちのひとつに所属して研究を進めます。

4年制博士課程
共同獣医学専攻



# 連合農学研究科

博士課程(後期3年)

本学、茨城大学および宇都宮大学の大学院農学研究科(農学府)修士課程を母体として編成された博士課程のみの大学院です。学生1名に関係分野の教員3名を指導教員として配置し、濃密で効率的な研究指導体制をとっています。全学生の約3割が留学生という国際色豊かな大学院です。

博士課程(後期3年)
生物生産科学専攻 応用生命科学専攻 環境資源共生科学専攻 農業環境工学専攻 農林共生社会科学専攻



## 修了後のキャリア

東京農工大学/茨城大学/千葉大学/秋田県立大学/農林水産省/農研機構/理化学研究所/東京都/University of California - Davis/カセサート大学/マレーシア工業大学/野村證券/森永乳業/第一三共/キュービー/中部電力/アジア航測 ほか

# 生物システム応用科学府

博士前期課程・博士後期課程・一貫制博士課程(5年)・博士課程(後期3年)

「生物に学び、新しいシステムを創造する」をコンセプトとし、農学、工学およびそれらを融合した学際領域の教育研究を行っています。生物機能システム科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)および、実践科学リーディング大学院プログラムの教育拠点である食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程(5年))、さらに早稲田大学との共同専攻である共同先進健康科学専攻(博士課程(後期3年))を設置して新しい科学技術を創造するためのさまざまな取り組みを行っています。

博士前期課程
生物機能システム科学専攻
博士後期課程
生物機能システム科学専攻
一貫制博士課程(5年)
食料エネルギーシステム科学専攻
博士課程(後期3年)
共同先進健康科学専攻



## 修了後のキャリア

旭化成/ソニー/全日本空輸/オリオンバス/パナソニック/東京エレクトロン/日産自動車/アリアハム/キャノン/日揮/村田製作所/花王/トヨタ自動車 ほか



## 東京農工大学卓越大学院プログラム

「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより牽引する卓越リーダーの養成



「卓越大学院プログラム」は、各大学の強みを核としつつ国内外の大学や研究機関、民間企業等と連携し、世界最高水準の教育研究力によって博士人材を育成する、文部科学省による5年一貫のアドオンプログラムです。本学では、農学と工学による協創、民間企業や海外研究教育機関等との協力、「新産業創出」と「ダイバーシティ」を特色とした教育で、農・工両分野の知識やスキルをもって超スマート社会を牽引する、卓越した博士人材の養成を行っています。研究資金獲得指導、ポートフォリオとコンピテンシー評価など、既存の大学院にはないシステムを取り入れ、効果的な教育と持続的な展開をめざしています。

## 連携機関

### 国内

- (株)クボタ
- イオン アグリ創造(株)
- (株)島津製作所
- (一財)日本自動車研究所
- (公社)日本農業法人協会
- (一社)首都圏産業活性化協会
- (株)リハネス
- (株)リクルートキャリア
- 実践女子大学
- (一社)AgVenture Lab

### 海外

- オックスフォード大学 [イギリス]
- ZALFドイツ [ドイツ]
- ボン大学 [ドイツ]
- ガジャマダ大学 [インドネシア]
- ベトナム林業大学 [ベトナム]
- コーネル大学 [アメリカ]
- カリフォルニア大学(デービス校) [アメリカ]
- ノースカロライナ大学(チャペルヒル校) [アメリカ]



農工協創



新産業創出



ダイバーシティ

# CAREER

## キャリア支援/進路・就職

東京農工大学では、大学院への進学率が高いため、大学院を修了した後に就職する学生が多いことが特徴です。また、本学では、学生各人が自己の能力・適性に合わせた職業選択をできるように、進路・就職の指導および情報提供をしています。進路（就職・進学）ガイダンス日程等の詳細については、ホームページ・学生Web掲示板等で案内しています。

### 進路（就職・進学）ガイダンス（令和2年度参考）

- 4月
  - 進学説明会 博士課程進学について
  - 一般説明会 就職活動の流れと心構え
- 5月
  - 公務員説明会 試験勉強の進め方ほか
  - 一般説明会 インターンシップ講座ほか
- 6月
  - 大学院進学説明会 奨学金・授業料免除制度の紹介ほか
  - 一般説明会 業界研究セミナー
- 10月
  - 一般説明会 就職活動のはじめ方ほか
  - 企業別説明会 合同企業説明会

- 11月
  - 公務員説明会 人事担当者等による合同説明会ほか
  - 留学生向け説明会 就職ガイダンス
- 12月
  - 一般説明会 就職内定者による体験談ほか
  - 企業別説明会 就職ガイダンス
- 1月
  - 一般説明会 OBによる合同セミナーほか
- 2月
  - 模擬面接講座 面接の実践とポイント
- 3月
  - 一般説明会 エントリーシートについて
  - 模擬面接講座 面接の実践とポイント
  - 企業別説明会 合同企業説明会ほか

### 進路・就職サポート

#### “未来の自分探し”をお手伝い

東京農工大学では、学生一人ひとりの進路や就職に関する悩みや相談に応えられるように、豊富な経験と知識を有する相談員（キャリア・アドバイザー）を学外から招へいし、みなさんの相談に応じています。また、就職情報コーナーを各キャンパス学生支援室に設け、随時企業情報の収集等ができるようにしています。



### 学部卒業生・大学院修了生の 地方・国家公務員就職者数

年度	地方公務員	国家公務員
令和2	18人	16人
令和元	12人	13人
平成30	18人	15人

※農学部・工学部卒業生、農学府・工学府修了生の合計

#### 卒業生 INTERVIEW

**大澤智美**  
OOSAWA, Satomi  
農学部 獣医学科  
(現・共同獣医学科)卒業  
帝人ファーマ株式会社 勤務

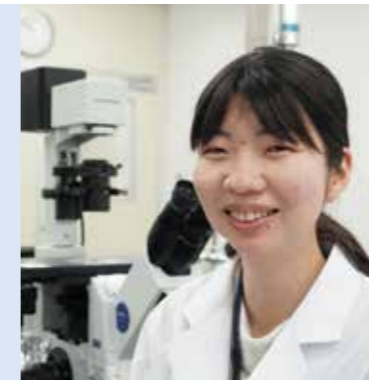


#### 獣医学の知識を新薬の「病理検査」で活用

製薬メーカーで、新しい医薬品の安全性を検査する仕事をしています。担当しているのは、ヒトの治療の前に実施する動物を使った投薬実験。新しい薬効が期待される成分に、どういった副作用があるのか……といったことを詳しく調べる「病理検査」と呼ばれる工程です。この仕事の面白さは、動物の身体の中で何が起きているかを細胞レベルで観察し、説明できることです。大学で身につけた生理学や解剖学の知識が仕事で役立っているのが大きなモチベーションになっています。

#### 卒業生 INTERVIEW

**山岸彩奈**  
YAMAGISHI, Ayana  
大学院工学府 生命工学専攻  
博士後期課程修了  
国立研究開発法人  
産業技術総合研究所 研究員



#### 乳がん細胞の転移メカニズムを解明する

乳がん細胞の転移能を抑制する新規分子の探索を行っています。標的としているのは、細胞の骨格を形づくる「ネスチン」と呼ばれる繊維状のタンパク質です。動物実験でこのネスチンを破壊した乳がん細胞の転移能が低下するデータが得られ、現在はさらに詳細なメカニズム解明に挑んでいます。蛋白質合成や遺伝子組み換えの技術など、大学の研究室での経験は現在の研究で大いに活かされています。ネスチンに関する研究成果が乳がんの診断や治療に応用するのが目標です！

#### 卒業生 INTERVIEW

**齋藤康将**  
SAITO, Yasumasa  
大学院 連合農学研究科  
生物生産科学専攻博士課程修了  
住友化学株式会社 勤務



#### 農薬の研究・開発で「食」の未来を支える

住友化学株式会社で、農薬の研究・開発に携わっています。対象は殺虫剤で、新規剤の探索や既存剤の応用開発を行っています。化学メーカーの研究者である私ですが、学生時代の専攻は生物学。研究室では昆虫病原性ウイルスの研究に取り組み、大学院の博士課程まで進みました。博士課程1年次には、カリフォルニア大学デービス校に留学し、その成果で国際共著論文を発表することもできました。農学の知見を活かして、サステナブルな食糧生産に貢献したいと思っています。

#### 卒業生 INTERVIEW

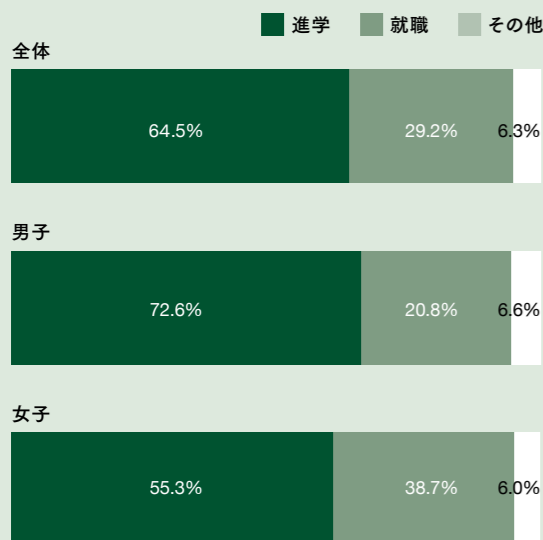
**堤内 出**  
TSUTSUMINAI, Susumu  
大学院工学研究科 応用化学専攻  
博士後期課程(当時)修了  
三菱ケミカル株式会社 勤務



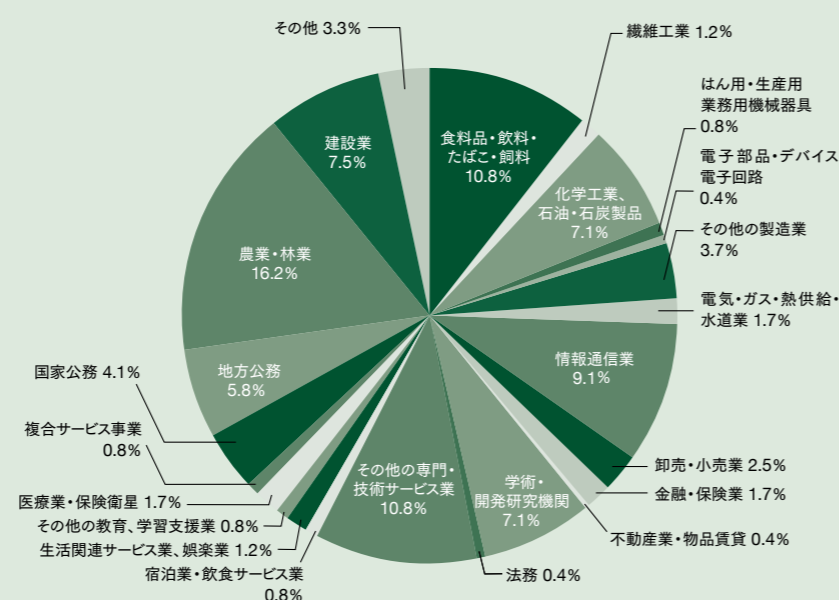
#### 「人工光合成」で環境汚染の課題を解決する

三菱ケミカルの研究開発部門で無機材料の開発に携わっています。最も長く携わっているのは、「人工光合成」の研究です。目標は光触媒を用いて、太陽光で水を水素と酸素に分解し、取り出した水素とCO2を反応させて、エチレンやオレフィンといったプラスチック製品の材料を合成するシステムを構築することです。石油資源の枯渇は地球レベルの問題です。企業の立場からカーボンニュートラルの実現に貢献する挑戦ができるのは、研究者として大きな喜びです。

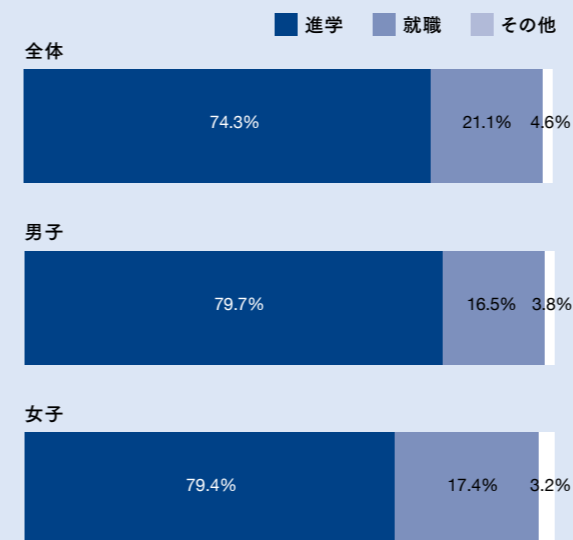
### 令和2年度 学部生(農学部)の進路状況



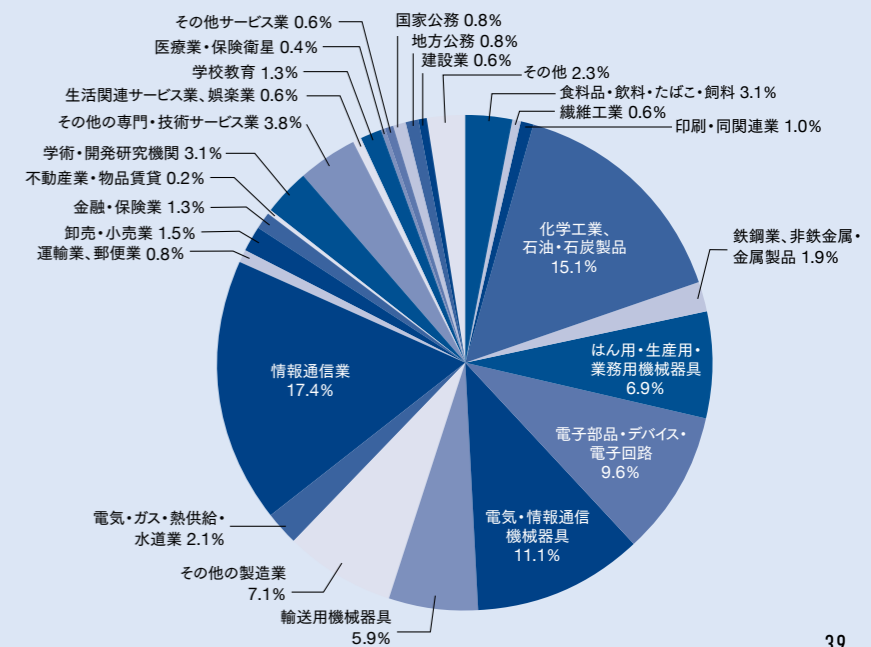
### 令和2年度 学部卒業生(農学部)・大学院修了生(農学府)の就職先状況



### 令和2年度 学部生(工学部)の進路状況



### 令和2年度 学部卒業生(工学部)・大学院修了生(工学府)の就職先状況



# FUCHU CAMPUS



農学部本館



農工夢市場

先進植物工場研究施設

本館 大講堂

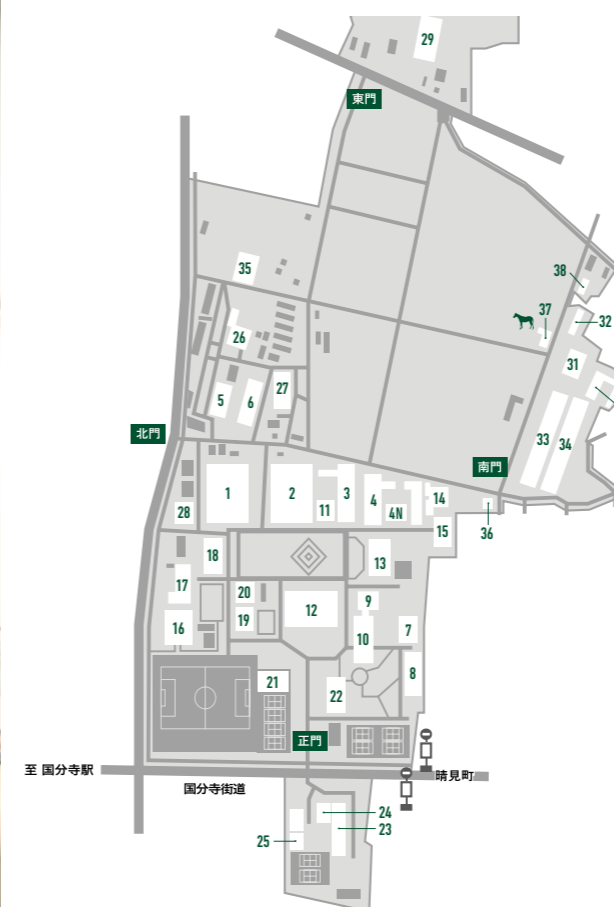
動物医療センター

遺伝子実験室

## 府中キャンパス

東京都内にありながら、約27万平方メートルという広大な敷地を誇る府中キャンパス。緑あふれる構内には、講義棟や研究棟、先進の研究施設が設置されており、自然に恵まれた環境で学ぶことができます。さらに、広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センターの農場が広がっています。

## CAMPUS MAP



- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 1号館              | 21 運動場附属施設<br>(ゴルフ練習場)                  |
| 2 2号館              | 22 本部(学生系)・<br>グローバル教育院                 |
| 3 3号館              | 23 本部管理棟                                |
| 4 4号館              | 24 保健管理センター                             |
| 4N 新4号館            | 25 50周年記念ホール                            |
| 5 5号館              | 26 農学部附属広域都市圏<br>フィールドサイエンス教育<br>研究センター |
| 6 6号館              | 27 遺伝子実験施設                              |
| 7 7号館              | 28 農学部RI実験研究室                           |
| 8 8号館              | 29 乳牛舎                                  |
| 9 9号館              | 30 府中国際交流会館                             |
| 10 農学部第1講義棟        | 31 楓寮(女子寮)                              |
| 11 農学部第2講義棟        | 32 府中第2宿舍(職員宿舎)                         |
| 12 農学部本館・科学博物館 分館  | 33 府中幸町宿舎(職員宿舎)                         |
| 13 府中図書館           | 34 府中第4住宅(職員宿舎)                         |
| 14 動物医療センター        | 35 先進植物工場研究施設                           |
| 15 農学部附属硬蛋白質利用研究施設 | 36 農工夢市場・<br>附属センター事務室                  |
| 16 府中体育館           | 37 厩舎                                   |
| 17 総合屋内運動場施設       | 38 檜寮                                   |
| 18 福利厚生センター        |   |
| 19 大学院連合農学研究科管理研究棟 |   |
| 20 共同先進健康科学専攻      |   |



馬術部



檜寮



農学部食堂



中庭



府中図書館

# KOGANEI CAMPUS



140周年記念会館(エリpos)



科学博物館



学術研究支援総合センター



ものづくり創造工学センター 樺寮



産学連携研究推進センター

## 小金井キャンパス

豊かな自然に恵まれ、榊並木と銀杏並木が印象的な小金井キャンパス。都心から電車で30分圏内と好立地に位置し、工学の基礎から応用までを学ぶ講義棟をはじめ、研究開発に取り組む各種施設が立ち並びます。国内外の最先端を担う研究開発を行うのに適した環境となっています。



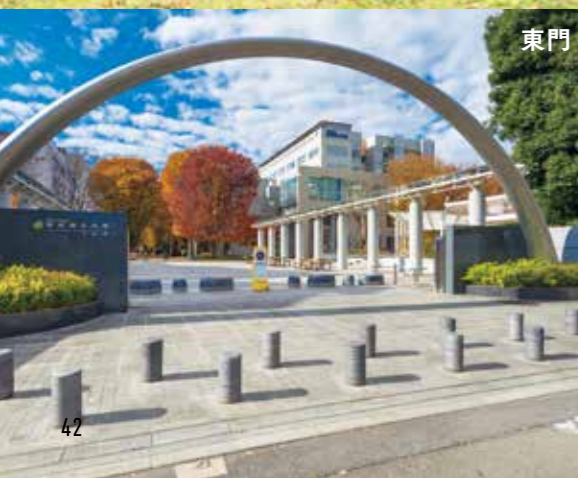
中庭



新1号館



食堂



東門



小金井図書館



## CAMPUS MAP

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1 1号館             | 18 BASE本館                              |
| 2 2号館             | 19 工学部総合会館                             |
| 3 3号館             | 20 CAD/CAM実習棟                          |
| 4 4号館             | 21 先端産学連携研究推進センター                      |
| 5 5号館             | 22 科学博物館                               |
| 6 6号館             | 23 先端科学実験棟                             |
| 7 7号館             | 24 環境管理施設                              |
| 8 8号館             | 25 ものづくり創造工学センター                       |
| 9 9号館             | 26 体育館・武道場                             |
| 10 10号館           | 27 工学部RI研究棟                            |
| 11 11号館           | 28 小金井国際交流会館                           |
| 12 12号館           | 29 榊寮(男子寮)                             |
| 13 13号館(グローバル教育院) | 30 桜寮(女子寮)                             |
| 14 14号館           | 31 小金井第2宿舍(職員宿舎)                       |
| 15 工学部講義棟         | 32 140周年記念会館(愛称:エリpos)                 |
| 16 新1号館           | 33 次世代キャパシタ研究センター                      |
| 17 小金井図書館         | 34 管理棟(愛称:CUBE)<br>(小金井地区事務部・保健管理センター) |

チームワークでは負けません!



アメリカンフットボール部



馬術部



TUAT Formula



サッカー部



ミニホースの会



管弦楽団



ロボット研究会



昆虫研究会

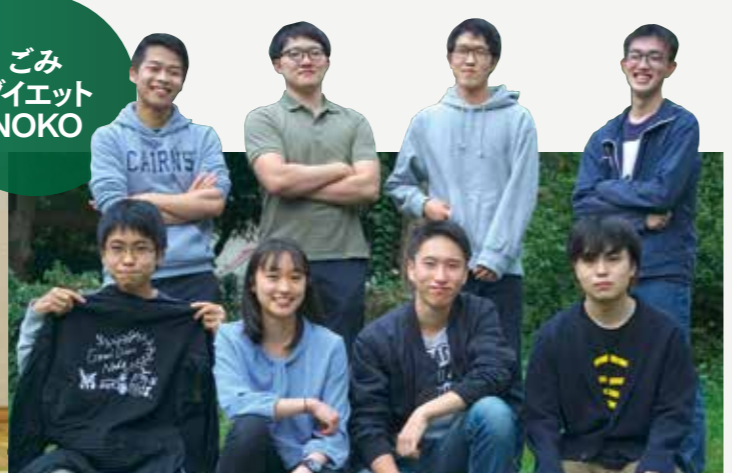
昆虫の世界を覗いてみよう!

# CAMPUS LIFE

1年を通してさまざまなイベントが行われ、自然豊かなキャンパスでは四季の変化を感じることができます。東京農工大学で経験する学生生活は、ここでしか得られない貴重なものです。また、府中・小金井キャンパスの垣根を越えて交流が行われるサークル活動は、文化系から体育系までとさまざま。共通の趣味や目的をもった仲間と充実したキャンパスライフを送ることができます。



ラート競技部



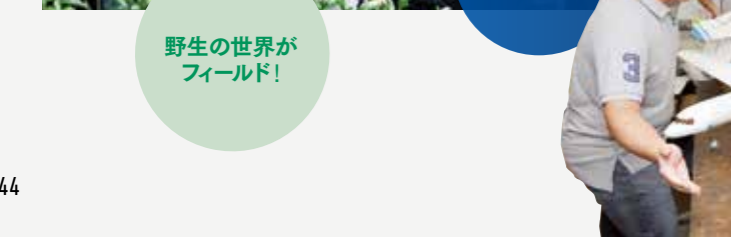
ごみダイエツトNOKO



狩り部



弓道部



航空研究会

野生の世界がフィールド!

航空機好き、集まれ!

農工やさい塾



## SCHEDULE

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式(春季)	入学式(秋季)	創立記念日			夏季休業	修了式(秋季)	入学式(秋季)	学園祭	冬季休業			卒業式
学年開始	新入生オリエンテーション											学年修了、春季休業

### 文化系サークル

- Buddy Club
- SF研究会
- TUAT Formula
- アカベラサークル ANIT
- 囲碁部
- 歌研究会
- 宇宙工学研究部Lightus
- 映画研究会
- エレクトーンサークル
- 演劇部
- カードゲームサークル
- 管弦楽団
- ギター部
- 競技かるたサークル
- 競技麻雀部
- グリーンクラブ
- 軽音部
- 航空研究会
- 昆虫研究会
- 作曲 DTM サークル
- 茶道部
- 児童文化研究会(ジャリ研)
- ジャグリングサークル@jug
- 写真部
- 将棋部
- 昭和歌謡愛好会
- 植物研究会
- 吹奏楽団
- ステージ研究会
- 電腦サークル
- 旅と鉄道研究会
- 竹桐会
- 天文部
- ピアノ部
- 美術部
- 文芸部
- マイクロコンピュータクラブ
- まちけん
- 漫画研究部
- 硬式野球部
- モダンジャズ研究会
- 野生動物研究会
- 落語研究会
- ロボット研究会R.U.R.

### 体育系サークル

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- オリエンテering部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自転車部
- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 卓球部
- 探検部
- テコンドー部
- 馬術部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハングライダー部
- フォークダンス部
- 洋弓(アーチェリー)部
- ヨット部
- ラート競技サークル
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

### 自主ゼミ

- 狩り部
- 変わり種工房
- 耕地の会
- ConnectA (コネクタ)
- ごみダイエツトNOKO
- 食農ゼミ
- どんぐりの村
- 農工やさい塾
- のこすまいと
- のたっと
- ミズコンポスト管理局
- MOWゼミ
- 森づくりの会
- 森の派出所
- 養蜂サークル

演劇部

ジャグリングサークル



初心者も大歓迎!



# 学生生活サポート

経済的なことから、勉学環境、日常生活まで、誰もが利用できるバックアップ体制となっています。

## 保健管理センター

府中キャンパス、小金井キャンパスにそれぞれ設置しています。医師、カウンセラー、看護師、非常勤学校医を有する本センターでは、学生の心身の健康維持・増進を図るため、健康相談、カウンセリング、定期健康診断、病気やけがの応急処置などを行っています。

### 府中キャンパス 保健管理センター



場所 | 府中キャンパス正門向かい  
予約・お問い合わせ | TEL 042-367-5548・5189  
受付日時 | 月～金：9:00～16:00

### 小金井キャンパス 保健管理センター



場所 | 小金井キャンパス管理棟1階  
予約・お問い合わせ | TEL 042-388-7171  
受付日時 | 月～金：9:00～16:30

### 特別修学支援室



身体や感覚機能に障がいのある学生、その他さまざまな修学上の問題を抱える学生を支援しています。  
お問い合わせ | 各保健管理センター  
FAX | 042-367-5559

### 工学部総合会館・農学部福利厚生センター等

学生の憩いの場、学生同士や学生と教職員の親睦を図るための施設として農学部内に「農学部福利厚生センター」、工学部内に「工学部総合会館」の施設を設置。そのほか、学生の課外活動やレクリエーション等のための合宿研修施設も用意しています。また、東京農工大学消費生活協同組合では食堂をはじめ、大学生活に便利な文房具・オリジナルグッズの販売を行っています。



工学部総合会館

## 奨学金

東京農工大学では、学生一人ひとりに合わせて奨学金を用意しています。奨学金には、いくつか種類があり東京農工大学独自の奨学金、日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

### 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与・給付を受けるには、経済的に困難というだけでなく、成績等も含めた選考のうえ採用となります。※学部生対象

日本学生支援機構奨学金	
第一種奨学金（無利子）	
自宅通学者	45,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
自宅外通学者	51,000円、40,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
第二種奨学金（有利子）	
申込者の経済的な必要度に応じて月額2万円～12万円の中から、1万円単位で選択できます。	
給付奨学金	
自宅通学者	29,200円（33,300円）、19,500円（22,200円）、9,800円（11,100円）（月額） ※生活保護世帯及び児童養護施設等から通学する人等はカッコ内の金額
自宅外通学者	66,700円、44,500円、22,300円（月額）

### 東京農工大学独自の奨学金

東京農工大学では、独自の給付型奨学金制度を設けています。博士課程内部進学者向けの東京農工大学奨励奨学金、研究を支援する研究奨励金「JIRITSU（自立）」などの制度があります。

問い合わせ先  
府中地区学生支援室学生生活係 TEL 042-367-5579  
小金井地区学生支援室学生生活係 TEL 042-388-7011

### 地方公共団体・民間団体等の奨学金

地方公共団体・民間奨学財団が募集する奨学金は、大学を経由して募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学を経由して募集するものは、各担当窓口にて案内しますので、希望する場合には所定の期限内に申請手続きを行ってください。個人申請の場合には、各募集先の申請方法を確認し手続きをしてください。なお、奨学金は申請資格を満たしていても、必ず採用されるとは限りません。

令和2年度の募集実績はこちら  
[http://www.tuat.ac.jp/campuslife\\_career/campuslife/fee/syogakki/syogakkin\\_koukyou/](http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/fee/syogakki/syogakkin_koukyou/)

## 学生寮・部屋探し

東京農工大学では、良好な学生生活と勉学の環境を提供するために学生寮を設置しています。入寮条件などの詳細情報は、大学のホームページにて提供しています。近隣の賃貸アパート等（1K、バス・トイレ付）の家賃相場は60,000円～75,000円ほどです。

寮名	府中キャンパス		小金井キャンパス	
	楓寮（女子寮）	檜寮（混住）	桜寮（女子寮）	樺寮（男子寮）
部屋の規格	1人部屋（9㎡）	1人部屋（16㎡）	1人部屋（13～15㎡）	1人部屋（14～20㎡）
収容定員	48名	男子学生49名 女子学生62名	18名	200名
寄宿料（月額）	7,400円	37,800円	30,000円	30,000円
共益費（月額）	なし	2,200円	10,000円	10,000円
諸経費	水光熱費・インターネット使用料など		共益費に水光熱費・インターネット使用料など含む	
設備	共同風呂・共同トイレ・共同キッチン	シャワー・トイレ・ミニキッチン付き	バス・トイレ・ミニキッチン付き	

## 入学科・授業料

### 入学科・授業料免除制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、入学科・授業料の全額または一部を免除する制度です。

令和2年度			
区分	授業料	入学科	検定料
学部生	年額 535,800円	282,000円	17,000円
学部生（3年次編入生）			30,000円
大学院生（産業技術専攻を除く）	年額 572,400円		30,000円
大学院生（産業技術専攻）			

### 入学科・授業料徴収 猶予制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、前期猶予者については当該年度8月末日まで、後期猶予者については当該年度2月末日まで入学科・授業料の徴収を猶予する制度です。

## 単位互換制度

多摩地区にある国立4大学（東京外国語大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学）をはじめ、国際基督教大学、東京海洋大学などの大学と単位互換制度を結んでいます。キャンパスの枠を超えた多彩な履修機会を無料で提供し、学生の学びへの意欲を積極的にサポートします。

多摩地区の国立大学を中心としたキャンパスで学べる	
学部	東京外国語大学／東京学芸大学／電気通信大学／一橋大学 国際基督教大学*／東京海洋大学* ◆（海洋工学部のみ） 琉球大学*／長岡技術科学大学*
大学院	東京外国語大学／東京学芸大学 電気通信大学／国際基督教大学* 東京海洋大学*／上智大学*

◆東京海洋大学（海洋工学部）との単位互換は工学部・工学府のみとなります。\*印は多摩地区国立5大学単位互換制度ではなく、本学が独自に単位互換を実施している大学です。

## 数字で見る農工大

### 教員1人に対して学生



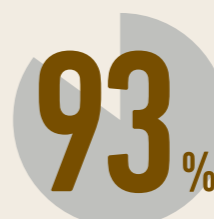
390名の教員が在職しており、学部生でみると教員1人あたりの学生数は約9人、研究室でみると平均2～3人。少人数による教育を行っています。

### 教員あたりの民間企業との 共同研究にともなう研究費受入額



出典 | 文部科学省「令和元年度 大学等における産学連携等実施状況について」

### 大学満足度



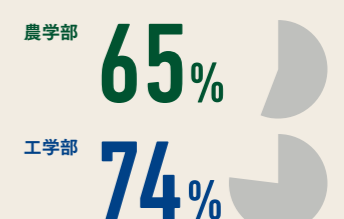
2021年度に実施した学生生活実態調査では、9割以上の学生が大学に満足しているという回答を得ることができました。

### 男女比



全国の理系国公立大学の中でもトップクラスの女子学生比率。

### 高い大学院進学率



東京農工大学の大学院進学率は、大学全体では70%と多くの学生が進学をしています。

### 分野別世界大学ランキング



出典 | QS World University Rankings 2021

# 入試情報

## 2023年度募集人員

**備考** ①前期日程の募集人員には、社会人および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。  
②ゼミナール入試、SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者が、募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学科	入学定員	一般選抜			総合型選抜		学校推薦型選抜	特別選抜		
			前期	後期	ゼミナール入試	SAIL入試	社会人入試		私費外国人留学生入試		
出願期間(2023年度入試)			1/23~2/1		10/7~10/13	9/1~9/9	1/19~1/25	1/19~1/25	1/13~1/23		
選抜期日(2023年度入試)			2/25	3/12	11/26	9/30		2/25・2/26	2/26		
学部	学科	入学定員	募集人員(人)								
農学部	生物生産学科	57	38	13	募集しない	募集しない	募集しない	6	若干名	若干名	
	応用生物科学科	71	47	16				8	〃	〃	
	環境資源科学科	61	40	12				3	6	〃	〃
	地域生態システム学科	76	53	15				8	〃	〃	
	共同獣医学科	35	25	6				4	募集しない	〃	
	学部計	300	203	62				3	32		
工学部	生命工学科	81	42	25	募集しない	募集しない	募集しない	7	7	若干名	
	生体医用システム工学科	56	28	18				6	4	〃	
	応用化学科	81	42	36				3	〃	〃	
	化学物理工学科	81	44	29				4	4	〃	
	機械システム工学科	102	52	37				5	8	〃	
	知能情報システム工学科	120	64	42				7	7	〃	
	学部計	521	272	187				29	33		
	合計	821	475	249				3	29	65	

## 入試関係資料について(予定)

	大学案内	入試情報	総合型選抜学生募集要項 (ゼミナール・SAIL)	特別選抜学生募集要項 (社会人・私費外国人留学生)
	5月中旬	6月下旬	7月中旬	8月下旬
東京農工大学生協(宅配)	○	○	○	○
テレメール	○	○	○	○
モバっちょ	○	○	○	○

一般選抜および学校推薦型選抜はWEB出願に移行したため、また、入学者選抜要項は、PDF形式による本学ホームページ掲載のみのため印刷物の発行はありません。  
[https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_gakubu/](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/)

**東京農工大学生協(宅配)** インターネット、携帯電話・スマートフォンおよびFAXにてお申し込みください。

**申し込み先** フォームに必要事項を入力し、内容を確認の上、送信してください。  
インターネット・スマートフォン | <https://www.univcoop.jp/tuat> FAX | 042-352-7222

**宅配に関する問い合わせ先** 東京農工大学生協  
電話 | 042-366-0762 (夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く11:00~14:00)

**テレメール** インターネットにより請求することができます。

- 1 テレメールのサイトにアクセスしてください。  
<https://telemail.jp>
- 2 ご希望の資料の資料請求番号を入力して下さい。  
QRコードをご利用の場合は入力不要です。
- 3 ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。



総合型選抜学生募集要項	581780	大学案内	562320
総合型選抜学生募集要項+大学案内	582440		
特別選抜学生募集要項	582340	入試情報	547140

資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

テレメールで請求した資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先 テレメールカスタマーセンター(IP電話) | 050-8601-0102 (受付時間9:30~18:00)

**モバっちょ** 携帯電話・スマートフォンまたはパソコンにより請求することができます。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

インターネット | <http://djcm-bj.jp/tuat2/>  
インターネットのみの利用となります。パソコン、携帯電話各社・スマートフォンともアドレスは共通。携帯電話・スマートフォンから請求すると、月々の通話料金と一緒に支払っていただけます。クレジットカード払い、コンビニ後払いも選択できます。資料請求代金に加えて、携帯払い、クレジットカード払いは50円、コンビニ後払いは126円の支払い手数料が別途必要です。携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約内容によっては携帯払いがご利用いただけない場合があります。



入試に関する問い合わせ先 東京農工大学 学務部 入試企画課 〒183-8538東京都府中市晴見町3-8-1 電話 | 042-367-5837, 5544

# OPEN CAMPUS 2022

東京農工大学への進学を希望する受験生のみなさんを対象に、今年も東京農工大学のオープンキャンパスを開催します。保護者の方々、高校の先生、塾・予備校関係者の参加も大歓迎。お問い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

## 農学部

※新型コロナウイルス感染症の状況によって変更あるいは中止の可能性があります。

日程	対象	名称(内容)
8月4日(木)	環境資源科学科	●夏休み1日体験教室 詳細は環境資源科学科HP ( <a href="https://web.tuat.ac.jp/~enrs/">https://web.tuat.ac.jp/~enrs/</a> ) をご覧ください。
8月3日(水)	環境資源科学科	●学科説明会 10:00~11:30/ 13:30~15:00
8月4日(木)	生物生産学科	学科の教育・研究の紹介、入試概要の説明、模擬授業、キャンパスツアー、進学相談など(午前と午後は同一内容)(学科により内容が異なります。)
8月5日(金)	応用生物科学科	※来場参加型で開催、後日録画配信を予定しています。
8月7日(日)	共同獣医学科	
8月8日(月)	地域生態システム学科	
10月2日(日)	生物生産学科	●秋のキャンパスハイク 10:00~10:45/ 11:00~11:45/ 13:30~14:15
10月23日(日)	地域生態システム学科	在学生がキャンパス内をご案内します。国の登録有形文化財の農学部本館や東京とは思えない広大な農場など農学部の教育環境を紹介します。
10月30日(日)	環境資源科学科	
11月6日(日)	共同獣医学科	
11月20日(日)	応用生物科学科	

## 工学部

※各開催日とも、来場参加型・オンライン配信を予定しています。  
※新型コロナウイルス感染症の状況によって、来場参加型の中止や内容変更があります。

日程	対象	名称(内容)
6月11日(土)	全学科	●オープンキャンパス ~キャンパス体験~ 全体説明会 10:00~12:00 学科説明会 13:30~15:30
8月4日(木)	全学科	●夏のオープンキャンパス ~学部説明会~ 全体説明会 8月4日(木)10:00~12:00 学科別説明会 8月4日(木)13:00~15:00 8月5日(金)13:00~15:00
8月5日(金)	全学科	
11月13日(日)	全学科	●秋のオープンキャンパス ~研究室大公開~ 全体説明会 10:00~12:00 学科別説明会 13:00~15:00

上記の日時で開催予定ですが、変更する場合がございます。参加される前に必ず本学WEBサイトにてご確認ください。

**参加申し込み** 事前のお申し込みが必要です。WEBサイトからお申し込みください。  
※開催日により説明する学科が異なります。定員にり次第、締め切ることがあります。

<https://www.tuat.ac.jp/admission/opencampus/>



**問い合わせ** 農学部広報担当▶電話:042-367-5654 E-mail:a-koho@cc.tuat.ac.jp  
工学部広報担当▶電話:042-388-7741 E-mail:k-koho@cc.tuat.ac.jp

## 学園祭(府中キャンパス)

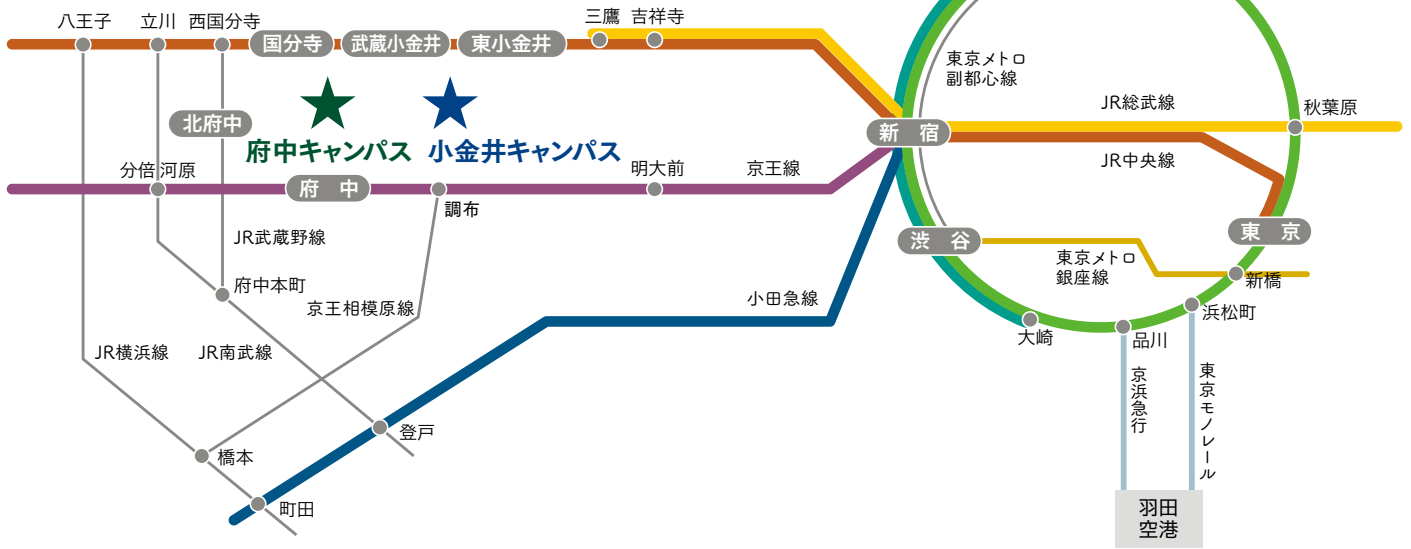
学生委員が主体となって、模擬店、野菜市、ライブステージ、受験生相談や研究室公開など、さまざまな企画が催されます。なお、農学部主催の「農学サイエンスフェスタ(ポスターによる研究紹介)」などが同期間に開催されます。

2022.  
11/11 FRI, 12 SAT, 13 SUN



# ACCESS MAP

都心からアクセス良好な2つのキャンパス



## 府中キャンパス

〒183-8509  
東京都府中市幸町3-5-8

### 交通案内

- JR中央線「国分寺駅」下車→南口2番乗場から「府中駅行バス(明星学苑経由)」約10分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- 京王線「府中駅」下車→北口バスターミナル3番乗場から「国分寺駅南口行バス(明星学苑経由)」約7分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分

## 小金井キャンパス

〒184-8588  
東京都小金井市中町2-24-16

### 交通案内

- JR中央線「東小金井駅」下車、南口徒歩8分、nonowa口徒歩約6分
- JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分

### 東京農工大学ウェブサイト

<https://www.tuat.ac.jp/>



東京農工大学の学部、大学院、入試情報のほか、オープンキャンパスや相談会、説明会のイベント情報など、さまざまな情報を発信。ドローンを使用して空撮した両キャンパスの映像は必見です。

### 受験生向け特別サイト

<http://web.tuat.ac.jp/~admiss/>



受験生の気になるキャンパスライフ情報を公開しています。研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生、学生生活の情報など、受験生の皆様へ向けた情報をお届けします。

### Instagram

[https://www.instagram.com/tuat\\_hakkenkoken/](https://www.instagram.com/tuat_hakkenkoken/)



大学で開催されたイベントやキャンパスの日常、クラブ・サークル活動の様子を公式キャラクターの「ハッケン コウケン」が発信しています。

### Twitter

@TUAT\_all



東京農工大学の“今”をつぶやきます! プレスリリースやイベント情報、サークルの活動、卒業生の近況など、バラエティに富んだ内容でつぶやいています。